

中日会報

公益社団法人 中部日本書道会
 編集事務局 名古屋市中区
 〒450-0002 名目45-19
 中村区名駅二丁目8番
 桑山ビル8階 C号 室番
 電話 (583) 19000
 F A X (583) 19100
<http://www.cn-sho.or.jp>
 info@cn-sho.or.jp
 印刷 株式会社 荒川印刷

理事長挨拶



理事長
関根玉振

平成の時代も三十一年を数えました。春の盛りと共に、令和の御代へと時代が移り変わってまいります。会員の皆様方も、新しい時代への希望と期待に胸をふくらませておいでのことと存じます。

その新たな時代を迎える年に、中日書道会は、創立八十五周年を迎え、第六十九回中日書道展の開催となります。多くの会員の皆様方が、特別な思いで作品を制作・出品して頂いたことと思います。

開催会場も本年は、愛知県美術館はじめ、従来の会場へと戻り、ご不自由をお掛けすることなく、良い環境での展覧会開催が出来、一層の期待が持てることと確信致しております。

そして創立八十五周年を記念し、第六十九回中日書道展の特別展示として、漢文学・東洋文学者で立命館大学名誉教授・文化勲章受章者の、白川静先生の業績を、一部ではございますが、展示ご紹介させていただきます。

白川先生は、古代文字からの漢字・文字の成り立ちを紐解く研究を終生行われました文字学、漢字学の権威でございます。

この度、立命館大学の全面的な協力の下に、今回の特別展示が実現することとなりましたことは、誠に嬉しい限りでございます。そして、特別展示に合わせ、白川文字学の後継者であり、白川静記念東洋文字文化研究所の高島敏夫先生による記念講演会も開催いたします。

私達は、日頃どうしても作品を制作することに重きを置きがちで、書の礎である文字についてまでは、なかなか思いが至ってはいないのではないのでしょうか。会員の皆様には、特別展示・講演会に足をお運び頂き『文字』について思いを巡らし、造詣を深める良い機会にして頂ければと考えております。

今後とも役員一同、会員皆様に役立つ企画をご提案してまいります。どうか、書道の技量向上のみならず、会員同士の交流を深め、知識・教養の見聞を広めるためにも、様々な企画にご参加頂きたいと願っております。

中日書道会八十五年の歩みを、さらに前に進めるために、会員皆様の変わらぬご協力を宜しくお願い致します。

目次

- 1 理事長挨拶
平成三十年度第二回理事会・第一回評議員会開催
- 2 祝賀懇談会・講演会
第六十九回中日書道展日程表
- 3 第六十九回中日書道展
第六十九回中日書道展運営委員会開催
- 4 第三十六回読書法展
第七十一回毎日書道展 当番審査員改組 新 第五回日展東海展中日賞
- 5 二〇一八年度第二回理事会内容(抜粋)
第六十九回中日書道展日程表
- 12 第六十九回中日書道展
第三十一回書道教育研修会のご案内
- 20 第三十一回書道教育研修会のご案内
特別展示・講演会
- 21 特別展示・講演会
- 23 支部だより(下半期)

平成三十年度

第二回理事会開催

日時 平成三十一年二月三日午後二時
場所 名古屋観光ホテル

本年度第二回の理事会が理事二十六名、監事三名の出席を得て開催されました。

岡野楠亭副理事長の開会のことは、関根玉振理事長の挨拶ののち議事に入りました。平成三十一年度の事業計画・収支予算案、中日書道展の審査会員昇格、特別昇格、評議員の承認、正会員の承認、名誉顧問の承認、新役員選考委員の選出方法が示され、熱心かつ慎重に審議が行われ、全会一致で承認されました。

閉会のことばは松下英風副理事長。

内容の詳細はP5〜10に記載



平成三十年度

第一回評議員会開催

日時 平成三十一年二月三日午後三時三十分
場所 名古屋観光ホテル

本年度評議員会が三二一名の出席を得て開催されました。

伊藤仙游副理事長の開会のことは、安藤滴水名誉副会長の挨拶ののち議事に入りました。

関根玉振理事長が議長となり、先に開催の理事会の決定事項の報告会という形で開催され、詳細に報告されました。閉会のことばは岡野楠亭副理事長。

団体署名実施協力中



平成30年度第2回理事会・第1回評議員会・講演会 改組新第5回日展入賞・入選、読売書法展・毎日書道展受賞者 名誉副会長安藤滴水先生 平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰受賞 祝賀懇談会 開催

祝賀懇談会を開催して

厚生部長 古川昇史

研究部長 武内峰敏

去る二月三日(日)平成三十年度第二回理事会・第一回評議員会懇談会が、三六四名の多くの出席者で名古屋観光ホテル三階那古の間において開催されました。

松下英風副理事長の開会の言葉で始まり、本会名誉副会長鬼頭翔雲先生からのご挨拶を戴きました。ご来賓、本会役員の皆様のご紹介の後、名誉副会長安藤滴水先生(平

成三十年度地域文化功労者文部科学大臣表彰)に本会名誉会長代行榎本樹郎先生より花束と記念品が贈呈されました。引き続き、平成三十年度改組新第五回日展審査員、特選、東海展中日賞、初入選者の皆様にそれぞれ、花束、ブーケ、記念品が授与されました。第三十五回読売書法展新聞社賞受賞者に本会名誉副会長鬼頭翔雲先生よりブーケ、記念品が授与され、第七十回毎日書道展会員賞受賞者に名誉副会長安藤滴水先生よりブーケ、記念品が授与されました。続いて乾杯のご発声を常任顧問松永清石先生より戴き、祝宴が始まりました。和やかな宴となり、新しい年号と共に一層の努力と発展を願い、伊藤仙游副理事長の閉会の辞により会は閉じました。



日展特選の梶山盛清先生



地域文化功労者文部科学大臣表彰の安藤滴水先生



祝賀懇談会風景

平成三十年度講演会を開催して

講師 書跡史学者 増田 孝氏
演題 「本阿弥光悦——人と書」

二月三日(日)名古屋観光ホテル曙東の間において書跡鑑定士としても著名な増田孝先生をお迎えして「本阿弥光悦——人と書」という演題でご講演をいただきました。

受講希望者は四〇七名におよび、会場を埋め尽くしました。先生のお人柄とテレビでお顔を存じあげている受講生が多く、和やかな空気の中、講演が始まりました。

増田先生所蔵の光悦書簡二本を資料として展示していただきました。間近に鑑賞する真跡の素晴らしさに、受講生は時がたつことも忘れ見入っていました。又、テレビ収録の面白さやご苦労話も交えた講演は、あつという間に過ぎてしまいました。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご講演をいただきました増田先生に厚く御礼申し上げます。



増田 孝 先生



講演会風景



第69回 中日書きぞめ展

会期 平成31年3月16日(土)・17日(日)
会場 ナディアパーク2階アトリウム

出品点数
15,343点

第六十九回中日書きぞめ展を開催して

教育部長 廣澤凌舟

三月十六日(土)、十七日(日)の二日間、ナディアパーク(矢場町)において第六十九回中日書きぞめ展を開催いたしました。

総出品点数一五、三四三点。厳正な審査(二月二日(土))により決定した上位入賞作品(文部科学大臣賞・奨励賞)一、三三三点を展示いたしました。

当日は雨、風と天候には恵まれませんでしたが五千人以上の方にご来場いただきました。

会場ではお孫さんの作品を嬉しそうに見ている御祖母様や作品の前でカメラに向かってポーズを取る子等、微笑ましい光景が彼方此方で見られました。

最後になりましたが、ご出品いただきました皆様、協賛会員様、教育部の皆様には厚く御礼申し上げます。

来年も開催予定でございます。多くのご出品をいただきます様よろしくお願い申し上げます。



第六十九回中日書道展運営委員会開催

第一事業部長 後藤啓太

桜花満開の四月七日(日)午後五時より、ホテルキャッスルプラザに於いて第六十九回中日書道展運営委員会が開催されました。

名誉会長代行樽本樹郎先生、名誉副会長安藤滴水先生、同頭頭翔雲先生をはじめ常任顧問の先生方の御臨席を賜り、理事、監事、各部部长、副部长、主任の先生方、協賛会員の皆様など総勢一六二名のご参加を頂くことができました。

今年度は昨年まで仕事をお願いしていました先輩の先生方から若手の先生方へ半数近くの交代となり、新たな力を結集しての中日書道展となります。

会議は天野白雲総務部長の進行により開会。関根玉振理事長からは「ご出席の皆様にご協力を頂き、多くの出品を得て盛大に開催できますように」との旨の御挨拶がありました。

続いて、名誉会長代行、名誉副会長、常任顧問の先生、ご出席いただいた協賛会員の皆様のご紹介が行われました。第一事業部長 後藤啓太からは第六十九回中日書道展の日程等と、今年度より審査が伏見の電気文化会館五階にて開催される事など変更点の説明を申し上げます。その後、各部に分かれ丁寧な打ち合わせが行われました。

懇談会は、古川昇史厚生部長の司会により行われ、名誉副会長鬼頭翔雲先生からは、新元号「令和」について、また中日書道会への熱いお気持が伝わってお言葉を頂きました。



理事長挨拶

常任顧問の土屋陽山先生からは、中日書道会の素晴らしさと共に乾杯の御発声を高らかに頂き開宴、和やかな雰囲気になりました。第六十九回中日書道展が盛大かつ順調に開催され成功となりますように、皆様のご協力をお願い申し上げます。



運営委員会打合せ

新名誉顧問ご就任 熱田神宮宮司 千秋季頼氏

第三十六回 読売書法展 第七十一回 毎日書道展 当番審査員

第三十六回 読売書法展

◇審査顧問 樽本樹邨

◇特別賞選考委員 樽本樹邨

◇当番審査員

〔漢字部門〕

天野梢華 荒川恵風

上田賦草 太田海軒

松下英風

〔かな部門〕

清水春蘭 馬場紀行

村瀬俊彦 村田華泉

〔篆刻部門〕

磯貝弘子 香月久遠

鈴木立齋

第七十一回 毎日書道展

◇会員賞選考委員

〔漢字〕 松永清石

〔大字書〕 水谷海越

◇当番審査員

〔漢字Ⅰ類〕 伊藤吟雪

〔漢字Ⅱ類〕 川口雄峰

〔近代詩文書〕 加藤裕

長谷川鸞卿

安藤清香

安藤滴水

安藤滴水

〈懇談会予告〉

令和元年度

公益社団法人 中部日本書道会総会

創立八十五周年記念

第六十九回中日書道展入賞・入選者授賞式

令和元年六月十六日(日) ホテルナゴヤキャッスル

改組新 第五回日展東海展

中日賞を受賞して

丹羽春蘭



この度、日展東海展に於いて「中日賞」を受賞し、感激で胸一杯です。入選する事を目標としていたの
で、まさか自分が賞をいただけるなんて思ってもみ
ませんでした。これも偏に師匠や諸先輩方のご指導があったからこそ、受賞
できたと感謝しております。本当に長く続けてきて良かったと思います。

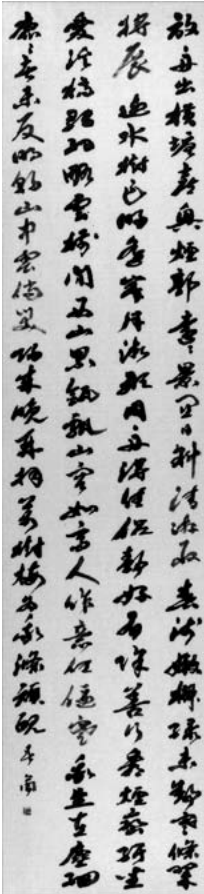
今回の作品は、清末時代の詩人「錢謙益」の五言古詩を、孫過庭の草書や
王羲之の行書を基にして表現したものです。連綿を避けて単体でありながら、
字間のとり方、字の大小によって流れを出すように制作しました。

又、作品を明るく爽やかに仕上げたいという思いで筆を運びました。墨量、
墨色など、まだまだ反省点がありますが、今回の作品に生かしていきたいと
思います。

今まで私を支えてくれた家族や友人に、感謝の気持ちを忘れず、更に精進
して参ります。

今後とも、変わらぬご指導をお願い申し上げます。

錢謙益の詩



第二〇一八年度 公益社団法人 中部日本書道会 第二回理事会内容 (より 抜粋)

日時 二〇一九年二月三日(日)
場所 名古屋観光ホテル

二〇一八年度 公益社団法人 中部日本書道会 第二回理事会 次 第

- 一、開会のことば
- 二、理事長あいさつ
- 三、議 事

第一号議案 二〇一九年度事業計画(案)に関する件
第二号議案 二〇一九年度予算(案)に関する件

(1) 収支予算書
正味財産増減予算書

(2) 事業区分後の正味財産増減予算書
資金調達及び設備投資の見込みについて

(3) 審査委員の承認に関する件
特別昇格者の承認に関する件

(4) 評議員の承認に関する件
正会員の承認に関する件

第六号議案 名誉顧問の選任に関する件
第七号議案 新役員選考委員の選出に関する件

四、その他

五、閉会のことば

第一号議案 二〇一九年度事業計画(案)に関する件

I 書道普及振興事業(公益目的事業 1)

一 展覧会等の事業

本会は、展覧作品の審査を行う公募展である中日書道展を企画運営することによって、従来より、書道文化の普及発展に寄与していることは周知されていることである。加えて、初心者、若年層および地域の書道愛好家のために、これにふさわしい書道展の開催も必要不可欠である。そのために本会では、中日書きぞめ展、一宮支部学生展、半田支部学童書道展、西三河支部学生展を展覧作品審査を行う公募展として開催する。

また、書道芸術の発展のためには、書の技量の上達だけでなく、書に関する幅広い教養の習得も必要である。このため、本会では、書道教

- (1) 育研修会、公開講座、講演会、研修会を実施する。
中部日本書道会第六十九回中日書道展、特別展示

会期 二〇一九年六月十一日～三十日
会場 愛知県芸術文化センター

愛知県美術館ギャラリー
電気文化会館 東・西ギャラリー

名古屋市民ギャラリー栄
名古屋博物館

(2) 第七十回中日書きぞめ展
会期 二〇二〇年三月二十一日～二十二日
会場 ナディアパーク アトリウム

(3) 中日支部学生書道展
第四十八回一宮支部学生書道展
会期 二〇一九年十一月二十三日～二十四日

会場 一宮スポーツ文化センター

(4) 第五十五回半田支部学童書道展
会期 二〇一九年七月

会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)

(5) 第五十二回西三河学生書道展
会期 二〇一九年七月五日～七日

会場 岡崎市美術館

(6) 第三十一回書道教育研修会・小中学生夏休み毛筆体験教室
日時 二〇一九年八月六日

会場 名古屋国際センター

(7) 第二十三回公開講座
日時 二〇一九年十一月十七日

会場 電気文化会館イベントホール

(8) 本部(二〇二〇年二月)、一宮(二〇二〇年二月)、半田(二〇二〇年三月)、東三河(二〇一九年七月)、西三河(二〇二〇年二月)、濃飛(二〇一九年七月)、岐阜(二〇一九年五月)、中南勢(二〇一九年十一月)

研修会・講習会

半田(二〇一九年十一月、東三河(二〇二〇年二月)、岐阜(二〇一九年五月)

支部公開講座
半田 二〇一九年九月
会場 半田市福祉文化会館

II 福祉事業(公益目的事業 2)

本会では、従来より社会福祉法人への募金による社会事業への協力奉仕を行っている。引き続き本年度も、会員のうち有志から募金を募り、社会福祉法人中日新聞社会事業団および社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団に寄付をおこなう。

(1) 二〇一九年チャリティ愛の募金
—しあわせ薄い人々に愛の手を—
期間 二〇一九年十月～十二月

III その他の事業(相互扶助等事業)

本会は、展覧作品の審査を行わない公募展及び会員向け書道展として、書展及び各支部において支部展・支部選抜展を行う。

また、会員を対象として、本部講演会を開催して、会員の資質向上に寄与することとする。

支部においては、会員向け講習会・講演会を行い支部会員の資質向上に努めている。

このほか、本会では会員の研鑽・資質向上のため、本部および各支部において記念事業、研究会、研修会、研修旅行を行う。

(1) 会員の福利厚生のために、必要とする事業を行う。
① 展覧作品の審査を行わない公募展及び会員向け展覧会

② 第二十八回寿書展
会期 二〇一九年十一月十二日～十一月十七日

会場 電気文化会館東・西ギャラリー

③ 支部展・支部選抜展
第六十五回一宮支部展

特別展示「支部先賢遺墨展」
会期 二〇一九年十一月二十三日～二十四日

会場 一宮スポーツ文化センター

④ 第五十三回半田支部展
会期 二〇一九年九月

会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)

⑤ 第五十二回西三河支部会員展
会期 二〇二〇年二月十九日～二月二十三日

会場 岡崎市美術館

⑥ 第四十三回東三河支部展
会期 二〇一九年七月九日～十四日

会場 豊川桜ヶ丘ミュージアム

⑦ 東三河支部選抜展
会期 二〇二〇年二月

会場 豊橋市美術館

⑧ 濃飛支部展
会期 二〇一九年七月
会場 恵那文化センター

・第三十三回北勢支部展
会期 二〇一九年七月十四日～二十一日

会場 四日市市文化会館

・第三十三回中南勢支部展
会期 二〇一九年十一月十三日～十七日

会場 三重県立美術館

・岐阜支部展
会期 二〇一九年九月十三日～十五日

会場 岐阜市民会館

(2) 講演会 北勢(二〇一九年七月)

講習会 東三河(二〇二〇年二月)

(3) 研究会 北勢(二〇二〇年二月)

(4) 研究会 西三河(二〇二〇年三月)

(5) 研修会 本部(史跡探訪研修旅行他・二〇一九年十月、一宮(二〇一九年十月)、半田(二〇一九年十一月)、西三河(二〇一九年十月)、東三河(二〇一九年十月)、北勢(二〇一九年十一月)、中南勢(二〇一九年十月)、岐阜(二〇一九年十一月)

(6) 福利厚生事業

① 塾総合保険
② 会員交流会(宗ウリソグ大会 二〇一九年十二月)

③ 老人会色紙贈呈
半田支部においては、例年、地域(半田市・阿久比町・東浦町・武豊町・美浜町・南知多町)の老人会に対して色紙を贈呈して敬老の意を表している。

期日 二〇一九年八月

その他各種事業

① 書道に関する調査研究および発表
② 書道教育者の推薦書および看板の交付

③ 外国研修旅行補助

④ 組織拡大事業

⑤ 広報活動事業

⑥ 会員章(門章・襟章)の交付

⑦ 中日会報・支部会報の発行

⑧ ホームページによる情報提供

⑨ 資料文献収集保存事業

⑩ 書道功労者等顕彰事業

IV 管理業務

本会の事業遂行のため以下の会議を行う。

一 総会 一回(六月)

二 理事会 一回(四月・五月・六月・二〇二〇年二月)

三 評議員会 一回(二〇二〇年二月)

四 企画委員会 十二回各月

第二号議案 二〇一九年度予算(案)に関する件 (1) 収支予算書

2019年度

収 支 予 算 書 (案)

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
公益社団法人 中 部 日 本 書 道 会

備 考

科 目	2019年度 予算額 (A) 円	2018年度 予算額 (B) 円	増 減 (A) - (B) 円	説 明
1 事業活動収支の部				
1.1 事業活動収入の部				
① 基本財産運用収入	73,500	73,500	0	3000万×0.245%
② 特定資産運用収入	245,000	245,000	0	5000万×0.01%, 国債利息120,000×2
③ 理事監事受取会費収入	462,000	462,000	0	理事監事14,000円
④ 評議員受取会費収入	14,196,000	14,196,000	0	評議員参与12,000円
⑤ 正会員受取会費収入	19,064,000	19,856,000	△792,000	正会員8,000円
⑥ 準会員受取会費収入	2,180,000	2,180,000	0	準会員5,000円
⑦ 協賛会費収入	1,100,000	1,100,000	0	協賛会員25,000円
⑧ 事業活動収入	37,083,000	37,794,000	△711,000	
⑨ 事業活動支出の部				
① 事業活動支出	900,000	1,080,000	△180,000	5,000円×180点
② 支部学生展収入	5,698,000	5,594,000	△104,000	支部別内訳参照
③ 支部学生展収入	5,746,000	5,817,000	△71,000	支部別内訳参照
④ 支部学生展収入	3,500,000	3,500,000	0	支部別内訳参照
⑤ 支部学生展収入	3,012,000	2,934,000	78,000	支部別内訳参照
⑥ 支部学生展収入	80,000	80,000	0	支部別内訳参照
⑦ 支部学生展収入	100,000	100,000	0	支部別内訳参照
⑧ 支部学生展収入	260,000	260,000	0	支部別内訳参照
⑨ 支部学生展収入	300,000	300,000	0	支部別内訳参照
⑩ 支部学生展収入	300,000	300,000	0	支部別内訳参照
⑪ 支部学生展収入	30,000	30,000	0	支部別内訳参照
⑫ 支部学生展収入	0	0	0	支部別内訳参照
⑬ 支部学生展収入	43,954,000	45,830,000	△1,876,000	中日展収入内訳参照
⑭ 支部学生展収入	5,700,000	5,800,000	△100,000	400円×約16,000点(整理費差引)
⑮ 支部学生展収入	4,200,000	4,250,000	△50,000	
⑯ 支部学生展収入	16,600,000	16,600,000	0	
⑰ 支部学生展収入	2,671,000	2,221,000	450,000	
⑱ 支部学生展収入	89,901,000	91,226,000	△1,345,000	
⑲ 支部学生展収入	0	0	0	
⑳ 支部学生展収入	0	0	0	
㉑ 支部学生展収入	1,000	1,000	0	
㉒ 支部学生展収入	1,050,000	0	1,050,000	2019・2020年度用
㉓ 支部学生展収入	330,000	330,000	0	
㉔ 支部学生展収入	95,000	255,000	△160,000	一宮支部
㉕ 支部学生展収入	0	0	0	
㉖ 支部学生展収入	1,476,000	586,000	890,000	
㉗ 支部学生展収入	1,287,785,500	1,299,944,500	△1,166,000	
2. 事業活動支出の部				
① 事業活動支出	804,492	737,000	67,492	支部事業費含む
② 事業活動支出	826,200	877,000	△50,800	中日展・寿展受付等
③ 事業活動支出	1,477,000	1,076,000	401,000	各種贈礼
④ 事業活動支出	7,010,000	7,368,000	△358,000	各種代位記念品代
⑤ 事業活動支出	608,300	443,500	165,000	事業代位記念品代
⑥ 事業活動支出	10,366,000	10,422,000	△56,000	作業時交通費
⑦ 事業活動支出	5,529,500	7,108,300	△1,578,800	作業時食事
⑧ 事業活動支出	1,037,000	901,000	136,000	クワンサー
⑨ 事業活動支出	8,572,490	9,043,110	△470,620	展覧会案内、出品表、賞状等
⑩ 事業活動支出	72,000	63,500	8,500	半田支部事業光熱費
⑪ 事業活動支出	3,520,740	2,910,840	609,900	半田支部事業光熱費
⑫ 事業活動支出	163,000	173,050	△10,050	会場使用料
⑬ 事業活動支出	7,039,112	7,537,400	△498,288	一宮支部事業支払会費
⑭ 事業活動支出	100,000	100,000	0	会場設置、看板、パネル作成等
⑮ 事業活動支出	380,000	2,963,952	△2,583,952	愛の募金による寄託他
⑯ 事業活動支出	2,963,952	4,143,000	△1,179,048	外国研修補助
⑰ 事業活動支出	3,800,000	3,800,000	0	
⑱ 事業活動支出	100,000	100,000	0	
⑲ 事業活動支出	16,600,000	16,600,000	0	
⑳ 事業活動支出	28,847,000	28,847,000	0	
㉑ 事業活動支出	270,000	0	270,000	新聞
㉒ 事業活動支出	7,509,000	7,509,000	0	業界紙広告
㉓ 事業活動支出	1,324,000	1,248,800	76,000	塾保険等
㉔ 事業活動支出	300,000	286,800	13,200	
㉕ 事業活動支出	0	0	0	
㉖ 事業活動支出	2,235,000	2,340,000	△105,000	若年層・書きぞめ表装料ほか
㉗ 事業活動支出	85,454,986	87,536,500	△2,081,514	支部別内訳参照

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部別内訳	10,000	10,000	10,000	5,000	0	5,000	10,000	5,000	55,000
2 支部別内訳	411,000	1,000,000	348,000	144,000	44,000	124,000	80,000	508,000	1,759,000
3 支部別内訳	880,000	388,000	816,000	282,000	76,000	228,000	200,000	940,000	3,780,000
4 支部別内訳	120,000	115,000	155,000	80,000	50,000	50,000	30,000	37,500	637,500
合 計	1,421,000	613,000	1,329,000	481,000	170,000	407,000	320,000	1,490,500	6,231,500
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部別内訳	920,000	923,000	1,270,000	1,375,000	120,000	240,000	300,000	550,000	5,698,000
2 支部別内訳	1,520,000	1,450,000	2,276,000	0	0	0	0	0	5,746,000
3 支部別内訳	0	0	0	350,000	0	0	0	0	350,000
4 支部別内訳	860,000	405,000	400,000	283,000	170,000	294,000	360,000	240,000	3,012,000
5 支部別内訳	0	0	0	80,000	0	0	0	0	80,000
6 支部別内訳	1,190,000	450,000	0	0	300,000	200,000	261,000	270,000	2,671,000
7 支部別内訳	95,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000
合 計	4,585,000	3,228,000	4,446,000	2,088,000	590,000	734,000	921,000	1,060,000	17,652,000
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部別内訳	132,000	80,000	70,000	146,000	55,000	92,000	140,000	70,000	785,000
2 支部別内訳	0	101,000	0	102,000	0	70,000	0	0	273,000
3 支部別内訳	0	0	134,000	0	0	0	0	0	134,000
4 支部別内訳	866,000	473,000	437,000	359,000	160,000	335,000	420,000	441,730	3,491,730
5 支部別内訳	0	0	0	323,000	0	0	0	0	323,000
6 支部別内訳	1,931,000	1,331,000	2,590,000	0	0	0	0	0	5,852,000
7 支部別内訳	805,000	496,000	1,117,000	1,259,000	180,000	187,000	230,000	449,200	4,723,200
8 支部別内訳	0	139,000	0	0	0	0	0	0	139,000
9 支部別内訳	380,000	0	0	0	0	0	0	0	380,000
10 支部別内訳	0	450,000	0	0	300,000	200,000	261,000	416,000	2,847,000
11 支部別内訳	1,220,000	0	0	0	0	0	0	0	1,220,000
事業費計	5,334,000	3,070,000	4,348,000	2,189,000	695,000	884,000	1,051,000	1,376,930	18,947,930
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
支部別内訳	1,122,000	341,000	803,000	330,000	114,000	227,000	150,000	1,173,570	4,260,570
積立金	70,000	100,000	300,000	50,000	0	30,000	0	0	550,000
積立金取崩	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支部収支差額	△520,000	330,000	324,000	0	△49,000	0	40,000	0	125,000

科目	2019年度 予算額(A)	2018年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	説明
② 支出				
1 支費事務費含む	1,100,000	1,206,000	△ 106,000	支部事務所費含む
2 支費事務費	207,000	207,000	0	
3 支費事務費	93,000	93,000	0	
4 支費事務費	62,000	62,000	0	
5 支費事務費	360,000	413,000	△ 53,000	職員給与・賞与
6 支費事務費	5,150,000	5,054,000	△ 96,000	臨時職員
7 支費事務費	900,000	1,100,000	△ 200,000	税理士・司法書士・労務士
8 支費事務費	1,300,000	1,630,000	△ 330,000	支部書品代・記念品代
9 支費事務費	1,630,000	1,100,000	△ 530,000	慶弔等
10 支費事務費	432,000	718,000	△ 286,000	職員交通費
11 支費事務費	688,000	718,000	△ 30,000	タクシー 駐車料
12 支費事務費	3,121,000	2,853,000	△ 268,000	
13 支費事務費	604,000	827,000	△ 223,000	
14 支費事務費	643,000	564,000	△ 79,000	
15 支費事務費	8,505,960	7,283,100	△ 1,222,860	会報・議案書ほか(会員名簿)
16 支費事務費	339,000	355,000	△ 16,000	支部事務所電気・冷暖房
17 支費事務費	3,994,100	3,615,200	△ 378,900	電話・郵送料等
18 支費事務費	403,000	314,000	△ 89,000	振込料
19 支費事務費	7,850,000	7,772,000	△ 78,000	本部 支部事務所
20 支費事務費	1,453,100	1,505,100	△ 52,000	会議室・印刷機り一スほか
21 支費事務費	200,000	25,000	△ 175,000	法人市県民税
22 支費事務費	25,000	25,000	0	色紙代
23 支費事務費	241,000	211,000	△ 30,000	色紙代
24 支費事務費	640,000	765,000	△ 125,000	色紙代
25 支費事務費	18,000	50,000	△ 32,000	色紙代
26 支費事務費	950,000	27,000	△ 923,000	色紙代
27 支費事務費	950,000	859,000	△ 91,000	色紙代
28 支費事務費	336,000	330,000	△ 6,000	色紙代
29 支費事務費	1,890,100	1,728,600	△ 161,500	色紙代
30 支費事務費	43,430	43,000	△ 430	色紙代
31 支費事務費	0	0	0	色紙代
32 支費事務費	42,084,076	40,082,900	△ 2,001,176	色紙代
33 支費事務費	1,275,390,076	1,276,188,500	△ 79,424	色紙代
34 支費事務費	1,239,424	2,326,000	△ 1,086,576	色紙代
II 投資活動収入の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動収入	0	0	0	
3 投資活動収入	0	0	0	
4 投資活動収入	0	0	0	
5 投資活動収入	0	0	0	
6 投資活動収入	500,000	0	△ 500,000	90周年事業(2024年)
7 投資活動収入	0	0	0	2019・2020年度用
8 投資活動収入	0	0	0	
9 投資活動収入	500,000	0	△ 500,000	資産積立
10 投資活動収入	0	0	0	
11 投資活動収入	144,000	144,000	0	
12 投資活動収入	50,000	50,000	0	
13 投資活動収入	400,000	400,000	0	
14 投資活動収入	0	500,000	△ 500,000	2024年
15 投資活動収入	550,000	500,000	△ 50,000	2019・2020年度版
16 投資活動収入	1,144,000	550,000	△ 594,000	一宮・非田・西三河・東三河・北勢
17 投資活動収入	0	1,644,000	△ 1,644,000	
18 投資活動収入	0	0	0	
19 投資活動収入	0	0	0	
20 投資活動収入	0	0	0	
21 投資活動収入	0	0	0	
22 投資活動収入	0	0	0	
23 投資活動収入	0	0	0	
24 投資活動収入	0	0	0	
25 投資活動収入	0	0	0	
26 投資活動収入	0	0	0	
27 投資活動収入	0	0	0	
28 投資活動収入	0	0	0	
29 投資活動収入	0	0	0	
30 投資活動収入	0	0	0	
31 投資活動収入	0	0	0	
32 投資活動収入	0	0	0	
33 投資活動収入	0	0	0	
III 財務活動収入の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動収入	0	0	0	
3 財務活動収入	0	0	0	
4 財務活動収入	0	0	0	
5 財務活動収入	0	0	0	
6 財務活動収入	0	0	0	
7 財務活動収入	0	0	0	
8 財務活動収入	0	0	0	
9 財務活動収入	0	0	0	
10 財務活動収入	0	0	0	
11 財務活動収入	0	0	0	
12 財務活動収入	0	0	0	
13 財務活動収入	0	0	0	
14 財務活動収入	0	0	0	
15 財務活動収入	0	0	0	
16 財務活動収入	0	0	0	
17 財務活動収入	0	0	0	
18 財務活動収入	0	0	0	
19 財務活動収入	0	0	0	
20 財務活動収入	0	0	0	
21 財務活動収入	0	0	0	
22 財務活動収入	0	0	0	
23 財務活動収入	0	0	0	
24 財務活動収入	0	0	0	
25 財務活動収入	0	0	0	
26 財務活動収入	0	0	0	
27 財務活動収入	0	0	0	
28 財務活動収入	0	0	0	
29 財務活動収入	0	0	0	
30 財務活動収入	0	0	0	
31 財務活動収入	0	0	0	
32 財務活動収入	0	0	0	
33 財務活動収入	0	0	0	
IV 当期繰越収支差額	300,000	300,000	0	
前期繰越収支差額	295,424	382,000	△ 86,576	
当期繰越収支差額	5,111,834	4,729,834	△ 382,000	
前期繰越収支差額	5,111,834	5,111,834	0	

科目	2019年度 予算額(A)	2018年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	説明
中日振収入内訳				
1 審査員以上出品料	13,680,000	15,960,000	△ 2,280,000	14000円×1.20点
2 依嘱・無鑑査出品料	300,000	12,240,000	△ 11,940,000	12000円×995点
3 二科出品料	6,840,000	7,380,000	△ 540,000	9000円×760点
4 若年層出品料	4,060,000	4,550,000	△ 490,000	7000円×580点
5 入賞目録	2,250,000	2,650,000	△ 400,000	5000円×480点
6 社中広告料	228,000	240,000	△ 12,000	300円×760点
7 社中広告料	56,000	60,000	△ 4,000	200円×280部
8 社中広告料	1,840,000	1,840,000	0	40000円×46件
9 協賛店広告料	910,000	910,000	0	35000円×26件
合計	43,954,000	45,830,000	△ 1,876,000	

事業別内訳	2019年度 予算額(A)	2018年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	説明
1 講演会費	962,000	914,000	△ 48,000	支部は支部別内訳参照
2 春書展費	1,216,400	1,241,400	△ 25,000	
3 支部講習会費	273,000	275,500	△ 2,500	支部別内訳参照
4 支部研究会費	134,000	131,000	△ 3,000	支部別内訳参照
5 支部研修会費	3,491,730	3,416,050	△ 75,680	支部別内訳参照
6 支部選抜展費	323,000	358,000	△ 35,000	支部別内訳参照
7 支部学生展費	5,852,000	5,762,000	△ 90,000	支部別内訳参照
8 支部展費	4,723,200	4,407,050	△ 316,150	支部別内訳参照
9 色紙代	139,000	139,000	0	支部別内訳参照
10 書道振興事業費	380,000	360,000	△ 20,000	一宮
11 書道教育研修費	758,500	772,000	△ 13,500	
12 外国研修補助費	100,000	100,000	0	
13 功労者等顕彰費	235,000	335,000	△ 100,000	
14 書道教育者養成費	100,000	100,000	0	教室看板
15 書道総合保険事業費	254,000	254,000	0	
16 史跡探訪費	500,000	300,000	△ 200,000	
17 書道普及事業費	2,271,492	2,144,000	△ 127,492	企画委員会
18 周年記念事業費	0	0	0	
19 情報提供事業費	268,000	358,000	△ 90,000	サ・ト運営
20 調査研究費	30,000	30,000	0	
21 資料収集費	60,000	60,000	0	
22 公開講座費	534,000	534,000	0	
23 中日書きぞめ展費	33,311,664	36,203,500	△ 2,891,836	
24 中日書きぞめ展費	5,699,000	6,101,000	△ 402,000	
25 愛の募金費	4,052,000	4,252,000	△ 200,000	
26 会員交流	340,000	0	△ 340,000	
27 本部祝賀会費	16,600,000	16,600,000	0	
28 支部祝賀会費	2,847,000	2,389,000	△ 458,000	支部別内訳参照
合計	85,454,986	87,536,500	△ 2,081,514	

管理費目別内訳	2019年度 予算額(A)	2018年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	説明
1 会議費	4,311,000	4,539,000	△ 228,000	本部
(1) 総会	1,811,000	2,068,000	△ 257,000	
(2) 理事・評議員会	945,000	1,214,000	△ 269,000	
(3) 役員選挙委員会	1,490,000	1,257,000	△ 233,000	
(4) 役員選挙委員会	65,000	0	△ 65,000	
2 事務局費	26,941,520	25,808,000	△ 1,133,520	本部
3 支部事務所費	4,260,570	4,576,000	△ 315,430	支部別一覽参照
4 慶弔費	310,000	260,000	△ 50,000	依花・見舞金等
5 名簿費	4,787,000	4,775,000	△ 12,000	在4回発行
6 名簿費	1,474,000	1,240,000	△ 234,000	2019・2020年度版
合計	42,084,090	40,082,000	△ 2,002,090	
事業及び管理合計	127,539,076	127,618,500	△ 79,424	

備考

(2) 正味財産増減予算書

2019年度 正味財産増減予算書 (案)

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

科 目	2019年度予算額(A) 円	2018年度予算額(B) 円	増減(A)-(B) 円	説 明
I 一般正味財産増減の部				
1. 經常増減の部				
(1) 經常収益				
① 基本財産運用利益	73,500	73,500	0	
② 特定資産運用利益	245,000	245,000	0	
③ 受取利息	462,000	462,000	0	
1 理事監事受取会費	14,292,000	14,196,000	96,000	
2 評議員受取会費	19,064,000	19,856,000	△792,000	
3 正会費受取会費	2,165,000	2,180,000	△15,000	
4 協賛会費受取会費	1,100,000	1,100,000	0	
5 受取会費	37,083,000	37,794,000	△711,000	
④ 事業収入	900,000	1,080,000	△180,000	
1 事業部収入	5,698,000	5,594,000	104,000	
2 支部収入	5,746,000	5,817,000	△71,000	
3 支部収入	350,000	350,000	0	
4 支部収入	3,012,000	2,934,000	78,000	
5 支部収入	80,000	80,000	0	
6 支部収入	100,000	100,000	0	
7 普通教育者推薦教室看板収入	260,000	260,000	0	
8 塾総合保険料収入	300,000	0	300,000	
9 会費収入	300,000	0	300,000	
10 公務員講座参加料収入	300,000	300,000	0	
11 普通教育研修参加料収入	30,000	30,000	0	
12 周年記念事業収入	0	0	0	
13 中日書き展収入	43,995,400	45,830,000	△1,836,000	
14 中日書き展収入	5,700,000	5,800,000	△100,000	
15 愛の部収入	4,200,000	4,250,000	△50,000	
16 本部収入	16,600,000	16,600,000	0	
17 支店収入	2,671,000	2,221,000	450,000	
18 支店収入	89,901,000	91,246,000	△1,345,000	
⑤ 受取利息	0	0	0	
⑥ 雑収入	1,000	1,000	0	
1 普通預金受取利息	1,050,000	0	1,050,000	
2 宛名簿広告料収入	330,000	330,000	0	
3 宛名簿発行手数料収入	95,000	255,000	△160,000	
4 雑収入	0	0	0	
5 雑収入	1,476,000	586,000	890,000	
経常増減	128,778,500	129,944,500	△1,166,000	
(2) 經常費用				
1 理事報酬	1,100,000	1,206,000	△106,000	
2 名譽会長報酬	207,000	207,000	0	
3 名譽副会長報酬	93,000	93,000	0	
4 名譽副会長報酬	62,000	62,000	0	

5 学術顧問報酬	360,000	413,000	△53,000	
6 企画委員を兼務する評議員報酬	804,492	737,000	67,492	
7 従業員給与	5,150,000	5,054,000	96,000	
8 退職金	0	0	0	
9 臨時雇賃	1,726,200	1,977,000	△250,800	
10 福利厚生	50,000	130,000	△80,000	
11 報償費	3,107,000	2,706,000	401,000	
12 報償費	7,442,000	7,478,000	△36,000	
13 報償費	1,296,500	1,161,500	135,000	
14 旅費	13,487,000	13,277,000	210,000	
15 食費	6,133,500	7,935,300	△1,801,800	
16 消耗品	1,680,000	1,465,000	215,000	
17 印刷費	17,078,450	16,326,210	752,240	
18 光熱費	411,000	418,500	△7,500	
19 通信費	7,514,840	6,526,040	988,800	
20 手続費	566,000	487,050	78,950	
21 事務用品	7,850,000	7,772,000	78,000	
22 消耗品	8,474,212	9,042,500	△568,288	
23 什器備品	300,000	300,000	0	
24 消耗品	25,000	25,000	0	
25 委託金	744,400	601,000	143,400	
26 委託金	3,603,952	4,908,000	△1,304,048	
27 委託金	3,850,000	3,850,000	0	
28 委託金	118,000	127,000	△9,000	
29 補助費	950,000	859,000	91,000	
30 雑費	0	0	0	
31 本部収入	16,600,000	16,600,000	0	
32 支部収入	2,847,000	2,389,000	458,000	
33 支部収入	270,000	0	270,000	
34 支部収入	7,845,000	7,839,000	6,000	
35 支部収入	3,214,100	2,976,600	237,500	
36 支部収入	300,000	286,800	13,200	
37 新築費	43,430	43,000	430	
38 表裏	2,235,000	2,340,000	△105,000	
39 減価償却費	421,848	571,931	△150,083	
経常増減	127,960,924	128,190,431	△229,507	
(1) 經常外増減の部	817,576	1,754,069	△936,493	
(2) 經常外費用	0	0	0	
当期経常外費用	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	817,576	1,754,069	△936,493	
前期一般正味財産増減額	115,987,246	114,726,956	1,260,290	
前期正味財産増減額	116,804,822	116,481,025	323,797	
前期正味財産増減の部	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
前期指定正味財産増減額	0	0	0	
前期正味財産増減の部	0	0	0	
前期正味財産増減	116,804,822	116,481,025	323,797	

2018年3月31日残高

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

正味財産増減予算書

(損益計算ベースかつ事業別に区分したもので)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益社団法人 中部日本書道会

(単位 円)

科目	公益目的事業会計		その他事業会計 他1	法人会計	合計	備考
	公1	公2				
I 一般正味財産増減の部						
(1) 経常収益	73,500	0	0	0	73,500	
① 基本財産受取利息	73,500				73,500	
② 特定資産運用益	245,000	0	0	0	245,000	
③ 受取資産受取利息	245,000				245,000	
理事監事受取会費	18,541,500	0	14,833,200	3,708,300	37,083,000	
理事職員受取会費	231,000		184,800	46,200	462,000	
正会員受取会費	7,146,000		5,716,800	1,429,200	14,292,000	
準会員受取会費	9,532,000		7,625,600	1,906,400	19,064,000	
協賛会員受取会費	1,082,500		866,000	216,500	2,165,000	
④ 事業収益	550,000		440,000	110,000	1,100,000	
寿書展収入	55,700,000	4,200,000	30,001,000	0	89,901,000	
支部学生展収入			900,000		900,000	
支部連技展収入	5,746,000		5,698,000		11,444,000	
支部講習会収入			350,000		350,000	
普通講習会収入			3,012,000		3,012,000	
普通講習会収入			80,000		80,000	
普通講習会収入			100,000		100,000	
普通講習会収入			260,000		260,000	
普通講習会収入			300,000		300,000	
普通講習会収入			300,000		300,000	
普通講習会収入			30,000		30,000	
普通講習会収入			0		0	
中日展収入	43,954,000				43,954,000	
中日書きぞめ展収入	5,700,000				5,700,000	
本の基金収入		4,200,000			4,200,000	
本部祝賀会収入		16,600,000			16,600,000	
支部祝賀会収入		2,671,000			2,671,000	
⑤ 受取寄付金	0	0	0	0	0	
受取寄付金						
⑥ 雑収	0	0	0	1,476,000	1,476,000	
普通預金受取利息				1,000	1,000	
会員名簿広告料収入				1,050,000	1,050,000	
宛名入会手数料収入				330,000	330,000	
宛名入会手数料収入				95,000	95,000	
経常収益合計	74,560,000	4,200,000	44,834,200	5,184,300	128,778,500	
(2) 経常費用					0	
理事監事報酬				1,100,000	1,100,000	
名誉会長報酬				207,000	207,000	
名誉副会長報酬				93,000	93,000	
名誉顧問報酬				62,000	62,000	
学術顧問報酬				360,000	360,000	
顧問報酬	724,043		80,449		804,492	
従業員給料手当	4,120,000		515,000		5,150,000	
退職金					0	
臨時雇賃金	1,553,580		1,726,200		3,279,780	
福利厚生費	40,000		5,000		45,000	
報償費	6,697,800		7,442,000		14,139,800	
報償費	648,250		648,250		1,296,500	
旅費交通費	10,789,600		2,697,400		13,487,000	
食糧費	4,906,800		1,226,700		6,133,500	
消耗品費	1,344,000		336,000		1,680,000	

印刷製本費	8,578,450	500,000	8,000,000	17,078,450
光熱水費	3,288,800		41,100	411,000
通信運搬費	6,763,356		751,484	7,514,840
手数料	509,400		56,600	566,000
事務所賃料	6,280,000		785,000	7,850,000
便用品	6,779,370		1,694,842	8,474,212
消耗什器備品費	240,000		60,000	300,000
租税公課			25,000	25,000
負担金	744,400		744,400	744,400
委託料	2,883,162		720,790	3,603,952
寄託費		3,850,000		3,850,000
補助助成		118,000		118,000
雑支	760,000		95,000	950,000
本部連立会報費		16,600,000		16,600,000
支部展覧会費		2,847,000		2,847,000
対外広報費	6,276,000		1,569,000	7,845,000
会議費	2,571,280		642,820	3,214,100
保険料		300,000		300,000
新聞図書費	1,788,000		43,430	43,430
表装保管料	337,480		447,000	2,235,000
減価償却費		42,184		42,184
経常費用合計	74,919,371	4,350,000	45,361,269	3,330,284
当期経常増減額	△ 359,371	△ 150,000	△ 527,069	1,854,016
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 経常外収益計				
(2) 経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 359,371	△ 150,000	△ 527,069	1,854,016
一般正味財産期首残高				817,576
指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高				115,987,246
指定正味財産増減の部				116,804,822
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産増減の部				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産増減の部				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産増減の部				0
指定正味財産期首残高				116,804,822

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

事業年度	自	至	法人コード	公益社団法人中部日本書道会
2019年4月1日	2020年3月31日		A002493	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて
 当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入れ先等を記載してください。

事業年度	借入れの予定	借入れ先	金額	用途
			なし	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載してください。

事業年度	設備投資の予定	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の用途
			なし	

二〇一八年度 第二回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認

第三号議案

審査会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会展覧会開催規定第九条の規定により、左記の者を審査会員としての委嘱の承認を求めます。

この承認は二〇一九年四月一日付けとする。

※第五号議案にて、左記の二科審査会員として承認された者は評議員として承認を受けました。

●二科審査会員

第一部 (二十八名)

安達 春翠 安藤 恵

家田 翠徑 石本 麗水

伊藤 東苑 大河戸 柳光

大寄 露光 大橋 南風

金子 秀越 倉科 清怜

近藤 翠嶺 佐藤 灑水

澤田 琇川 島田 楓林

高橋 寿香 竹中 青蘭

武山 春陽 長崎 成秀

中山 沙渚 錦 香籬

林 秋芳 堀尾 岳南

牧野 瑞葉 水谷 勝代

水野 菜月 矢上 扇麗

山崎 紅影 吉田 光波

第二部 (六名)

井上 鈴子 小野田 美晴

甲谷 富美子 榊原 令子

土屋 香風 若杉 美香

第三部 (九名)

飯田 翠園 小川 東歩

加藤 芳恵 近藤 暁子

近藤 瑤華 田中 雅子

堤 光星 中野 寿美

福岡 優慧

第四部 (二名)

泉 好子 矢田部 里美

第五部 (三名)

稲垣 華扇 久保 伯甫

林 誠哉

第四号議案

特別昇格者の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款第五条一号により、左記の者を特別昇格者としての承認を求めます。

この承認は二〇一九年四月一日付けとする。

●一科審査会員

第一部 (二十九名)

石原 聲風 伊藤 美泉

岩井 榮華 牛田 美泉

梅村 鶯谷 緒方 津苑

勝海 芝香 加藤 松雲

加藤 艸舟 神谷 素景

川浦 碧濤 清 芳園

倉田 珪延 栗本 珠路

黒野 芝香 小島 泰子

小塚 珠香 酒向 虹風

高井 香園 高橋 華堂

多和田 墨濤 中川 麗香

永谷 恵子 西 恵香

丹羽 峰仙 野村 暁峰

長谷川 眞山 古川 侃司

渡辺 慶心

第二部 (一名)

第三部 (二名)

坪井 白汀 阪野 小波

第四部 (三名)

杉田 節子 高木 紫光

第五部 (一名)

山本 史鳳

●二科審査会員

第一部 (八名)

石井 玉華 伊藤 美泉

杉坂 采和 竹内 南里

中尾 芝菜 西脇 翠畔

三倉 春汀 山田 桂苑

第二部 (二名)

村井 康山 山本宮 乃理

第三部 (一名)

福田 ヒデ

●依嘱

第一部 (二名)

田中 華城 鶴見 香翠

第二部 (一名)

江崎 婦沙子

●無鑑査

第一部 (一名) 足立 耕堂

第二部 (一名) 夏目 京山

第六号議案

正会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款第五条一号により、左記の者を正会員としての承認を求めます。

この承認は二〇一九年四月一日付けとする。

●第一部 (七十名)

秋田 由希恵 安達 寿扇

石黒 佳洲 出原 香蘭

居初 江陵 居波 優泉

今井 大地 岩田 純子

岩月 清曉 岩本 麗泉

上田 清楓 宇佐美 清雅

宇佐見 泰山 種田 圭鳳

太田 美楓 上手 菜々美

川辺 舟楫 木村 有里

栗本 清芳 河野 公美

小木 曾美空 後藤 京花

酒井 嘉瑞 榊原 美峰

佐藤 恵順 篠田 佳那

杉本 錦楊 杉山 壽万子

鈴木 影花 鈴木 葵峰

武田 佳風 田中 くるみ

田中 秋瑛 辻村 麗湖

鶴見 珀翠 豊田 霞汀

永井 江堂 永井 玲苑

長野 秋蘭 中野 良嗣

中野 和陽 中村 恭香

鍋田 珠子 成田 恵翠

成田 朋真 野々川 翠扇

野村 小鏡 林 里奈

原 みさと 日比野 未実

福島 真弓 舟橋 風苑

細川 柳舫 堀 美芳

堀井 美里 前川 紗於里

松井 泉城 松尾 萌

松元 昭美 水野 百花

満園 希杏 三輪 翠陵

村上 澄暎 森 菜々子

森川 諒子 森下 美影

山内 清華 山口 翠螢

横井 霞光 渡邊 照花

●第二部 (十八名)

東 美千代 飯田 楽舟

伊藤 紀子 稲村 洋春

岡田 洋美 川口 和子

小林 明美 鈴木 和子

高木 孝子 田本 尚子

中 紀代子 中垣 かづ江

中林 則子 馬場 景子

水野 直子 森 真由美

山川 節子 渡辺 桂山

●第三部 (二十六名)

安藤 昭亭 石川 裕里加

大谷 和子 大橋 紅邨

岡村 仁清 小川 董花

甲斐野 美津枝 梶田 夕貴

加藤 千秋 加藤 美代志

神戸 香穂 越川 瑞江

後藤 煌雪 佐藤 玉華

杉村 友香 鈴木 和代

瀬邊 風馬 高橋 遥菜

林 溪舟 坂 みゆき

三浦 由美子 水谷 静香

森 清子 守山 木乃芽

若菜 翠月 渡邊 柳泉

●第四部 (九名)

浅井 静子 北澤 真季

菰田 真由 鈴木 幸枝

平井 祐里 寶満 祥子

安江 菜美子 矢藤 千尋

●第五部 (三名)

岡本 多加江 貴島 小舟

永田 正毅

第七号議案

名誉顧問の選任に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款第四十二条により、左記の者を名誉顧問として選任する。

この承認は二〇一九年四月一日付けとする。

●名誉顧問

千秋 季頼

(熱田神宮 宮司退任により)

第六十九回 中日書道展 日程表

二月二十一日	木	書類発送	中部日本書道会本部	午前九時半～午後三時
四月 十二日	金	書類(取扱店へ)		
十七日	水	書類搬入(業者)本部へ	中部日本書道会本部	受付 午後一時～三時 作業 午後四時まで
電気文化会館 東・西ギャラリー・イベントホール 五階				
五月 九日	木	依嘱・無鑑査・一科・二科裏打ち作品搬入		午前十時～午後五時
十日	金	二科・鑑査		
十一日	土	一科・鑑査	一部・二部・三部・四部・五部	午前九時～午後五時
十二日	日	特別賞選考(依嘱・無鑑査)		午前九時～午後三時
		裏打ち作品搬出		午後二時半～午後五時
愛知芸術文化センター 県美ギャラリー 八階				
六月 十一日	火	審査顧問・特別出品・二科審査会員・二科審査会員・依嘱 ※1 作品搬入・陳列		搬入 午前十時～午後五時 (主任以上) 陳列 午後一時～午後五時
十二日	水	〃		午前十時～午後六時
十三日	木	〃		午前十時～午後六時
十四日	金	〃		午前十時～午後八時
十五日	土	〃		午前十時～午後六時
十六日	日	〃		午前十時～午後四時
十八日	火	〃		午後四時～午後五時十五分
電気文化会館 東・西ギャラリー 五階				
六月 十日	月	無鑑査作品搬入・陳列(第一部) (第二部入賞作品を含む)		搬入 午後一時～午後五時 陳列
十一日	火	〃		午前十時～午後六時
十二日	水	〃		午前十時～午後六時
十三日	木	〃		午前十時～午後六時
十四日	金	〃		午前十時～午後六時
十五日	土	〃		午前十時～午後六時
十六日	日	〃		午前十時～午後三時

名古屋市民ギャラリー栄 八階				
六月 十日	月	無鑑査作品搬入・陳列(第二部～五部) ※2 (第二部～五部入賞作品を含む)		搬入 午後一時～午後五時 陳列
十一日	火	〃		午前九時半～午後六時
十二日	水	〃		午前九時半～午後六時
十三日	木	〃		午前九時半～午後六時
十四日	金	〃		午前九時半～午後六時
十五日	土	〃		午前九時半～午後六時
十六日	日	〃		午後四時半～午後六時 ※ただし部屋からの搬出は午後五時

名古屋博物館 三階				
六月 十七日	月	一科作品搬入・陳列		搬入 午後一時～午後五時 陳列
十八日	火	〃		午前九時半～午後五時
十九日	水	〃		午前九時半～午後五時
二十日	木	〃		午前九時半～午後五時
二十一日	金	〃		午前九時半～午後五時
二十二日	土	〃		午前九時半～午後五時
二十三日	日	〃		午前九時半～午後五時
二十四日	月	休館日		
二十五日	火	一科作品搬出・二科搬入		一科搬出 午前九時半～正午 二科搬入
二十六日	水	二科陳列		二科 午後二時～午後五時 陳列
二十七日	木	二科陳列		午前九時半～午後五時
二十八日	金	〃		午前九時半～午後五時
二十九日	土	〃		午前九時半～午後五時
三十日	日	〃		二科 午後三時～午後五時 搬出

※1 創立八十五周年記念特別展示
 ※2 第六十九回中日書きぞめ展上位作品(八十五点)を展示
 ※授賞式・祝賀会 六月十六日(日) ホテルナゴヤキャッスル

第69回 中日書きぞめ展授賞式

日時 平成31年3月17日(日) 午後2時 会場 ナディアパーク 3階 デザインホール

文部科学大臣賞を受賞して

光ヶ丘女子高等学校 一年 吉田 多映

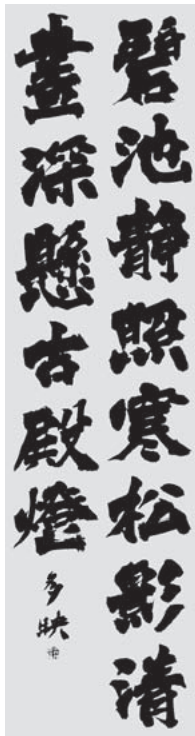


この度は、「文部科学大臣賞」という大変名誉ある素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。ご指導して下さった先生から電話を頂いた時、私は喜びで胸が高鳴りました。

この春高校に進学し、書道をする時間を少しでも多く取れるようにしてきました。中学生までとは違った「大人の書」のお手本を見た時には、このような字が書けるのだろうかとは不安で埋め尽くされてきました。しかし、先生方の確かなアドバイスとお褒めの言葉が励みとなり、ここまで来ることが出来ました。一画一画に集中する時間はとても静寂でも緊張しますが、その分、書き終わった後の達成感はとても大きく、充実していました。

来年は、語学留学で、自分の作品を完成させる機会は減ってしまいますが、現地の人に日本の書道を教えることが出来たらと思っています。今回頂いた賞を今後の糧にし、精進していきます。

文部科学大臣賞受賞作品



上位入賞者記念写真

第六十九回中日書きぞめ展

授賞式を終えて

褒賞部長 工藤 俊 朴

去る三月十七日(日)十四時から企画委員十六名出席のもと、例年どおり授賞式を三階のデザインホールにて実施致しました。

本年は衆議院議長賞と参議院議長賞が文部科学大臣賞と同格として追加され、三つの特大額(A3サイズ)が壇上を賑わせ、豪華な式となりました。

参加対象者は二八九名。

うち名古屋教育委員

員会賞以上三十三名の出席率は一〇〇%を記録しましたが、全体的には当日昼前から降った雨と寒さの為か、や、低調であったことは残念でした。近年、毎年徐々に上位入賞者の学齢が上昇、中学生がその大半を占めています。出来れば小学校高学年の生徒さんの奮起を期待したいところです。指導者の先生方よろしくお願い致します。



団体賞授賞式風景

第六十九回 中日書きぞめ展入賞者

衆議院議長賞



常滑市立鬼崎中学校 二年 柳澤 心那

参議院議長賞



小牧市立村中小学校 五年 佐橋 苑華



- 文部科学大臣賞**
 高校一年 吉田 多映
- 衆議院議長賞**
 中学二年 柳澤 心那
- 参議院議長賞**
 小学五年 佐橋 苑華
- 愛知県知事賞**
 高校二年 中田優衣奈
 中学三年 伊藤 有澄
 小学六年 井上 咲来
- 岐阜県知事賞**
 高校三年 安藤 裕基
 小学三年 松浦 杏実
 小学一年 小柳津実核
- 三重県知事賞**
 小学一年 長谷川叶美
- 小学四年** 龍井美仁依
小学二年 岡崎 伊吹
名古屋市長賞
 高校二年 伊藤 颯
 中学二年 稲垣 亜優
 小学六年 鬼頭 莉央
- 愛知県議会議長賞**
 高校一年 高松 一茶
- 岐阜県議会議長賞**
 小学六年 近藤 愛梨
- 三重県議会議長賞**
 小学六年 近藤 愛梨
- 名古屋市議会議長賞**
 高校三年 芝 優里花
 中学一年 柴垣 結菜
 小学六年 青山いのり
- 愛知県教育委員会賞**
 高校三年 小鹿 怜菜
 中学三年 鈴木 もも
 小学六年 山下 練
- 岐阜県教育委員会賞**
 高校二年 田宮 佑至
 中学二年 倉知 希
- 三重県教育委員会賞**
 小学六年 久野 真子
- 名古屋市教育委員会賞**
 高校一年 阪上 珠基
 中学一年 赤塚 望
 小学四年 成木 陽香
- 中日書道会賞**
 高校一年 薫 愛佳
 中学三年 中村 彩花
 小学二年 荒井 颯斗
- 中日新聞社賞**
 高校三年 水元 康誠
 高校二年 妙中 美月
 中学三年 加藤 開
 小学四年 宮地 咲羽

- 東海テレビ賞**
 小学五年 福田 あみ
 高校二年 柘植あゆみ
 中学三年 石川 詩織
 松村 千慧
 山本 寛之
 阿由葉紫恩
 安室 咲希
 塚腰 彩花
 丹羽 泉乃
 野口 瑞葵
 宮川莉々菜
- CBCテレビ賞**
 小学六年 宮川莉々菜
 高校二年 大島 万葉
 中学三年 相田奈菜美
 高倉 和瑛
 伊藤 寧音
 長谷川侑里
 山田ひなた
 小坂 幸慈
 渡邊 葉
 上原 彩寧
 宮地 咲羽
- 名誉会長賞**
 ○高校三年 安藤有里奈
 青山 夏海
 池之上芽生
 岩月亜希子
 窪田 有桜
 松島 由奈
 村田 真悠
 ○高校二年 青木 浩輔
 石川 朋佳
 一ノ瀬花奈
 牛丸由理佳
 岡田 真干
 川村めぐみ
 浜田 瑠音
 藤戸 恒成
- 高校一年**
 中嶋 真子
 永谷 美貴
 中村 紀映
 中村 芽衣
 成田 陽菜
 西本 愛
 平野 愛実
 廣瀬 佳歩
 不破 瑠風
 横井 悠乃
- 中学三年**
 今橋 迪子
 緒川 莉子
 金子 愛
 後藤 大輝
 鈴木 則香
 田中 滉樹
 都筑 羽唄
- 中学二年**
 鶴田 若捺
 中嶋 美貴
 永谷 美貴
 中村 紀映
 中村 芽衣
 成田 陽菜
 西本 愛
 平野 愛実
 廣瀬 佳歩
 不破 瑠風
 横井 悠乃
 今井 結梨
 岩瀬 杏彩
 大橋 綾乃
 小川 璃々
 小栗 卓真



賑わう作品展示会場

愛知県知事賞 高二 中田優衣奈
 松容麻佐鉦鍬魏
 靈藏河東薛儀本奈悠

愛知県知事賞 中三 伊藤 有澄

飛龍乘雲
中三 伊藤有澄

愛知県知事賞 小六 井上 咲来

春風梅花
六年 井上咲来

岐阜県知事賞 高三 安藤 裕基

研綺神歌各勝研綺舞止思多勢止勝
 可全終全經可上第止在在柳田中多得
 用登勢餘顔左羅羅司就續樹し松本美咲

岐阜県知事賞 小三 松浦 杏実

友を思う
三年 松浦杏実

岐阜県知事賞 小一 小柳津実桜

ひかり
一ねん おやいづみお

三重県知事賞 中一 長谷川叶美
 人類の幸福
中一 長谷川叶美

三重県知事賞 小四 龍井美仁依

雪の正月
四年 龍井美仁依

三重県知事賞 小二 岡崎 伊吹

ともだち
小二 岡崎伊吹

名古屋市長賞 高二 伊藤 颯

始平公
 必是以真領於上於造形致于下兼登于大
 代茲功厥作此也茲成自以彰渾女流遊建
 富運軍國欲心馬國造正宜寺亦林宜思有
 資來衆父使持節光大夫洛州刺史伊藤颯

名古屋市長賞 中二 稲垣 亜優

富士の初夢
中二 稲垣亜優

名古屋市長賞 小六 鬼頭 莉央

美しい朝
小六 鬼頭莉央

愛知県議会議長賞 高一 高松 一茶
 松容麻佐鉦鍬魏
 靈藏河東薛一茶

岐阜県議会議長賞 中三 戸崎 海

鶴舞松竹梅
中三 戸崎海

三重県議会議長賞 小六 近藤 愛梨

富士山雲海
六年 近藤愛梨

名古屋市長賞 高三 芝 優里花

嘉祐興嘆身歸楫山僧苦留看落日
 漸念萬頃秋文細斷霞暮空泉危重堂
 吟江初生晚二更月落天深黑優里花

名古屋市長賞 中一 柴垣 結菜

青雲の志
中一 柴垣結菜

名古屋市長賞 小六 青山いのり

雲海飛行
六年 青山いのり

- 落合和花子 中村 葵
- 川口 美咲 西山 千桜
- 木下 将志 東 珠来
- 古嶋菜月美 広瀬 陽葵
- 酒井千早季 福岡 莉沙
- 佐藤いすず 吉川 藍流
- 菅沼 歩夢 吉田 芽生
- 豊島 心咲 ○小学五年
- 長谷川実咲 浅井 音羽
- 林 由依 大野 史華
- 堀川 聡子 島山 友菜
- 松波 倫子 山本 結愛
- 水野 遥月 ○小学四年
- 中学一年 梶浦 桃
- 市岡 都和 河合 啄摩
- 上村真央吏 渡邊智莉子
- 王 欣洁 ○小学三年
- 太田 美住 白木明日実
- 大久さくら 津田 茉諒
- 鎌田 桃羽 ○小学二年
- 小林 美優 藤井ゆりか
- 篠畑 杏奈 ○高校三年
- 杉本 奈央 神谷 彩華
- 鈴木 颯菜 小島 康裕
- 中村 佳純 寺本 晏菜
- 野田 桃花 村尾 亜子
- 林 風花 ○高校二年
- 山本 楓珈 北村 優果
- 小学六年 板津 佐和 高松 宣道
- 伊藤 優杏 對島 綾音
- 犬飼 和希 中村 由妃
- 小川 真矢 和田友梨奈
- 亀井 京子 ○高校一年
- 鈴木 明依 梅村 美香
- 高木 毅 片山 愛菜
- 谷口 陽菜 千田 悠夏
- 筒井 千代 田中 楓乃
- 鐵具 愛華 寺嶋 湖々
- 長嶺 果凜 廣瀬早佑理

世界平和
六年 久野真子

岐阜県教育委員会賞 小六 久野 真子

天地創造
中二 倉知希

岐阜県教育委員会賞 中二 倉知 希

皇風敬致九州雙林慧則法師
崇聖教重興三寶塔使一切世寧成
蒙福多珍雅座俗技在法門 依云寺

岐阜県教育委員会賞 高二 田宮 佑至

新春富士
小六 山下練

愛知県教育委員会賞 小六 山下 練

龍池均垂五雲

愛知県教育委員会賞 中三 鈴木 もも

大千懷綴嘆之悲
慧日潛暉吟
高三 恰菜

愛知県教育委員会賞 高三 小鹿 恰菜

広い世界
四年 成木陽香

名古屋市教育局賞 小四 成木 陽香

新春の富士
中一 赤塚望

名古屋市教育局賞 中一 赤塚 望

程有海物美風三風味日橋沙望節即始大
功徳物濟有素持心但波羅密存施
方外土倫辰知見天作隆徳記 味基

名古屋市教育局賞 高一 阪上 珠基

平和新春
五年 岩間有沙

三重県教育委員会賞 小五 岩間 有沙

新雪初光
一年 井上詩織

三重県教育委員会賞 中一 井上 詩織

瑞雲富士嶺

三重県教育委員会賞 中二 丹羽美紗姫

- 藤戸 祐成
- 前田 奈摘
- 伊東 楓
- 伊藤 千紘
- 岡田 静音
- 勝水 維伽
- 加藤 夕海
- 丹 芙由子
- 中内 美京
- 長江 佑菜
- 西川 結唯
- 藤井 愛
- 間瀬ひなの
- 初山 歌音
- 守屋 百花
- 吉原 凪
- 渡辺 真生
- 伊藤 萌絵
- 井深 大樹
- 太田 蓮
- 大津ころ
- 片岡 秀真
- 北村 美優
- 黒川 陽莉
- 小松 美子
- 佐藤 舞衣
- 塩満 舞姫
- 高田 一成
- 高原 美鈴
- 竹市 妃那
- 田中 美穂
- 丹羽ななか
- 福井 結
- 古田ひなせ
- 逸見 琴子
- 村瀬 蓮
- 浅野龍三郎
- 飯沼 友那
- 石黒 琴実
- 梅田 紗弥
- 小木曾 花
- 金子 芽生
- 川瀬 呀香
- 佐伯英里香
- 酒井 蘭名
- 清水ゆりあ
- 杉浦 朋佳
- 恒川 結菜
- 中西 真尋
- 前田 朝来
- 松原 有瞳
- 松村 知宥
- 小学六年
- 安達 夕貴
- 有坂 倅乃
- 幾世 真絢
- 石川 琴子
- 市村 知也
- 伊藤 涉晴
- 片村皓太郎
- 加藤 勇樹
- 川本陽南乃
- 古塚 秀太
- 鈴木 里奈
- 須増 朋花
- 高橋 月乃
- 鷹見 柊弥
- 中村 紬希
- 成瀬 若菜
- 西 姫七
- 日比野彩花
- 福富 天柊
- 山本 來和
- 若林 恭吾
- 浅野ひなた
- 井上 茉音
- 小野 美結
- 金森 由衣
- 中西 匠見
- 中西 優稀
- 早河 有花
- 松山 琳音
- 山内 咲季
- 池山 紗乎
- 太田 樹
- 加藤 寛菜
- 鈴木 慶太
- 松本 麻那
- 小学三年
- 中村 芽愛
- 小学二年
- 森 優葉
- 小学一年
- 高木 彩夏
- 土野慎一郎
- 石橋 茉悠
- 磯貝美智子
- 切昌明日香
- 齋藤 孝貴
- 杉浦 歩
- 杉本 麻矢
- 武井 紗季
- 堀尾真喜子
- 水谷亜華里
- 安藤 里紗
- 安藤 萌梨
- 稲田 加奈
- 稲垣 萌美
- 奥村 尚子
- 加賀 文野
- 河村 紗希
- 小松崎直仁
- 柴田 梨美
- 須田 来美
- 二宮ひかる
- 原田 弥空
- 林 祐衣
- 宮坂 杏里
- 飯谷 朋子
- 山田 尚典
- 山川 裕生
- 山田 尚典
- 榎倉 彩乃
- 上野 穂花
- 太田 美結
- 大矢 夢華
- 小川 果枝
- 奥村 拓真
- 木下 歩美
- 杏脱 祥子
- 白鳥 未悠
- 千田 泰輝
- 相馬まつり
- 高田 夏朋
- 高橋 彩羽
- 西原麻衣子
- 西垣 朱梨
- 西出 光希
- 西原 万里
- 島坂真奈美
- 水野 里砂
- 村田 万桜
- 山田 敬介
- 吉田 恵音
- 吉川 千優
- 宇佐美歩人
- 井谷 美菜
- 伊東 早織
- 伊藤 なこ
- 梅田 由惟
- 奥田 由貴
- 加古 美花
- 加藤 佑彩
- 加藤 陽奈
- 神谷 凜
- 亀井 柚花
- 河田 晃有
- 岸 馨子
- 北澤 佑佳
- 近藤 涼介
- 近藤 柚菜
- 佐藤 ひな
- 佐々木皓基
- 須田舞菜美
- 鈴木 汐音
- 鈴木 琴葉
- 武田 美月
- 多湖 悠斗
- 田中 蓮
- 土田 明穂
- 戸田真菜華
- 中谷 光希
- 中西 祥太
- 中島 理花
- 中野 綺華
- 中村ひなの
- 西浦ひかる
- 服部 心音
- 服部 心音
- 浜田 結愛
- 濱口 友華
- 肥後 琴楓
- 平田 梨乃
- 平松 日和
- 福岡 童馬
- 前河 愛実
- 松田 楓
- 松永 桃子
- 水谷 優花
- 水谷 千夏
- 水谷 唯花
- 村上 佳那

中日新聞社賞 中三 木全 敦哉
龍池望五雲
中三 木全 敦哉

中日新聞社賞 中三 林 その子
新春福祿寿
中三 林 その子

中日新聞社賞 中三 平本 啓恭
積善有餘慶
中三 平本 啓恭

中日新聞社賞 中二 石川 夏葵
龍池望五雲
中二 石川 夏葵

中日新聞社賞 中二 前原 冴月
龍池望五雲
中二 前原 冴月

中日新聞社賞 中二 真野 青空
龍池望五雲
中二 真野 青空

中日新聞社賞 中二 渡辺 夕月
博愛精神
中二 渡辺 夕月

中日新聞社賞 中一 石川 諒一
強い信念
中一 石川 諒一

中日新聞社賞 中一 佐野明日葉
春光輝く
中一 佐野 明日葉

中日新聞社賞 中一 小川和々佳
初夢寶船
中一 小川 和々佳

中日新聞社賞 小六 須田 樹
友愛の情
小六 須田 樹

中日新聞社賞 小六 中軽米心恵
瑞気集門
小六 須田 樹

中日新聞社賞 小六 波多野照秀
春光千里
小六 波多野 照秀

中日新聞社賞 小六 波多野照秀
希望の朝
小六 波多野 照秀

- 一柳 凜夏 ○高校二年
 大橋由希子 浅見りこ 河口 彩菜
 加藤 陸登 荒井 唯花 熊崎 莉子
 熊澤 一乃 石川 夏 國分 彩羽
 近藤 紗希 石島 史織 後藤友理亜
 澤田あやか 加藤 亜実 柴田 留奈
 沢邊 陽央 加藤 紀夏 外園 沙樹
 杉原 彩良 神谷 明依 高阪 遥
 染谷 亮人 川田虎太郎 高野 紗矢
 辻 京夏 重松 想葉 高浜 伶名
 富永ひかる 神野 有紀 都築 知夏
 沼野 紗季 鈴木 里紗 中島 京華
 肥後 光咲 高木 陽基 橋本 莉乃
 波多野結万 田島 大生 古谷 理乃
 溝口 開斗 田尻 夏音 堀場菜々恵
 山下理緒菜 田代 鮎美 松尾 風輝
 村田 倫子 松山かなみ
 梅村 理史 野口 純伽 矢野 紗楓
 後藤 叶亜 長谷川莉乃 吉川 雲母
 鈴木 綾乃 林 樹里 脇田 朱莉
 富田 心菜 藤田 琴乃 船坂 南帆
 野田友梨奈 船坂 南帆 青木 優七
 早川 蓮珠 増田 菜月 青山 玲来
 平野 晴哉 村瀬 日菜 明松 達也
 本釜 広絆 村山 佑菜 浅井 萌花
 松浦 彩乃 山川優華子 安藤なつみ
 加藤依央莉 山崎 一慶 池田 竜望
 川畑 美遥 山本 桃香 石島 理彩
 菊池 右己 吉田 瞳 伊藤 美奈
 志村 沙那 井上 南梨 右近 淳乃
 浅井 那月 有馬 茉希 漆山 菜都
 石神ちひろ 石田 朋花 大澤亜衣那
 岡村 悠大 岡本 一希 竹内 紗菜
 高橋 歩花 世古 彪雅
 関 楓奈 鈴木 萌恵 杉本百々香
 杉本 朋香 杉本 朋香 浅野 星来
 浅井 暖栞 赤地 美咲 青木裕佳子
 青木裕佳子 赤地 美咲 青木裕佳子
 中尾 文哉
 伊藤 千尋
 伊藤 茉優
 伊藤 万智
 伊藤 優
 稲田 夏生
 井上 華穂
 井深 萌
 岩田 乃愛
 岩橋 雅
 宇野 百華
 衛藤 卓磨
 榎本みゆう
 海老麻希子
 遠藤 優真
 太田 沙羅
 大嶽しず香
 大友 理好
 岡村 咲奈
 小野 鈴音
 加藤あかり
 加藤樹里奈
 加藤 姫歌
 亀山 奈々
 川合 奏
 河崎 友花
 川嶋 康生
 北田 莉々
 木林 陽彩
 榎田 梨奈
 黒柳 奈々
 興梠 里奈
 小坂浩太郎
 小坂井結名
 後藤かなで
 後藤 美羽
 米田 愛
 近藤 佑希
 坂野 帆香
 坂本ジュン

中日新聞社賞 小六 渡邊 結芽
決意の朝
 六年 渡邊 結芽

中日新聞社賞 小五 福田 あみ
春光千里
 五年 福田 あみ

東海テレビ賞 高二 柘植あゆみ
 結屋主人境中 中島宣國 吾何 結屋遠地
 自解 揮毫 結屋 下終然 日南山 第 第 第
 和之 和之 運 此 中 有 直 書 秋 孫 子 志 言 志 志 志

東海テレビ賞 中三 石川 詩織
瑞気集門
 中三 石川 詩織

東海テレビ賞 中三 松村 千慧
不断の努力
 中三 松村 千慧

東海テレビ賞 中三 山本 寛之
鄰國傾慕
 中三 山本 寛之

東海テレビ賞 中二 阿由葉紫恩
不屈の精神
 中二 阿由葉紫恩

東海テレビ賞 中二 安室 咲希
富士山麓
 中二 安室 咲希

東海テレビ賞 中一 塚腰 彩花
新緑薫風
 中一 塚腰 彩花

東海テレビ賞 中一 丹羽 泉乃
前途有望
 中一 丹羽 泉乃

東海テレビ賞 中一 野口 瑞葵
強い信念
 中一 野口 瑞葵

東海テレビ賞 小六 宮川 莉々菜
春風万里
 小六 宮川 莉々菜

CBCテレビ賞 高二 大島 万葉
鄭長猷為
 高二 大島 万葉

CBCテレビ賞 中三 相田 奈菜美
梅清松古
 中三 相田 奈菜美

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|
| 松岡 優太 | 古庄 琴音 | 久井 大輔 | 林 陽菜乃 | 林 ひなた | 野村 真佑 | 西脇 有紗 | 西山奈美嘉 | 成瀬 桃果 | 中村野々夏 | 中野 瑛翔 | 富石 愛穂 | 土屋友理香 | 土屋 香琳 | 柘植 洪心 | 小椋 雅也 | 田村和香奈 | 田中 千愛 | 多田 進哲 | 竹本 英那 | 竹内 優輝 | 鷹見 秀真 | 高田 紗希 | 會田夕樹乃 | 鈴木 麻実 | 鈴木 杏梨 | 杉本 創哉 | 杉原 渚彩 | 神野 彩花 | 新谷 遙菜 | 白石くるみ | 下平 果奈 | 島澤 美優 | 澤田真理渚 | 澤 拓摩 | 皿井 弥月 | 佐原 主馬 | 佐々木はるひ | 櫻井 静花 | |
| 榑部 有香 | 木村 一孔 | 木村 茜寧 | 北嶋 理人 | 神田 蒼空 | 川浦 葵 | 加納 由菜 | 金子さくら | 小川 萌 | 小笠原咲姫 | 大矢陽向羽 | 大野友美加 | 太田 桃楓 | 遠藤 菜々 | 上戸 加歩 | 植田 愛音 | 伊藤 みゆ | 市川 笑姫 | 市川 翔太郎 | 足立 愛心 | 浅野さかり | 浅井 優果 | ○中学一年 | 吉光 沙織 | 吉原 晴菜 | 吉田 ゆりこ | 山本 健人 | 山田 有紗 | 山下 萌枝 | 矢野真菜実 | 柳 優恵 | 矢田 琴美 | 持丸 涼菜 | 村上 咲幸 | 皆本 愛美 | 南部 花奈 | 眞名子智仁 | 松野 祐大 | | |
| 羽柴みなみ | 花田 萌花 | 畑中 萌花 | 野口 周都 | 中山 美優 | 中島 優瞳 | 豊島 悠愛 | 富田有里史 | 富田真里依 | 寺澤 楓 | 土屋 英恵 | 谷 祐実 | 田寄 志歩 | 瀧田 結衣 | 相馬 亜美 | 瀨田 夏鈴 | 鈴木 詩野 | 鈴木 郁子 | 鈴木 菜々子 | 末弘 晏理 | 城山 楓華 | 前田 楓華 | 堀内 梓未 | 伏見 紗英 | 志村まなみ | 島原 結衣 | 芝 絃生 | 品田 実紅 | 榑原 世菜 | 酒井 梓紗 | 坂 心藍 | 小林 由依 | 小早川真央 | 小瀬 大輝 | 小島 花音 | 古賀妃奈乃 | 黒田 侑花 | 倉地みのり | 熊手 はな | 熊 寛佳 |
| 青木 耀 | 早稲田芽久 | 脇阪日向子 | 吉原 秀 | 吉田 海緒 | 横田和花乃 | 横井 璃子 | 山田 瑚夏 | 山下 珠穂 | 屋敷 華 | 森 音羽 | 村松 美月 | 向井一羅々 | 三輪奈々愛 | 宮田 梨央 | 宮崎 祐衣 | 皆川 菜緒 | 水野夢実菜 | 水野 知実 | 松永美優吏 | 牧野 滉己 | 前田 愛菜 | 堀内 梓未 | 伏見 紗英 | 藤原 奈実 | 福澤 要 | 福岡 遼太 | 福井 彩莉 | 廣田 愛珠 | 平田 詩乃 | 平澤 孝晴 | 久野亜衣子 | 彦坂 優咲 | 樋口 柚那 | 半谷 謙成 | 判治 孝哉 | 原 夏輝 | 馬場 月芽 | | |
| 小松 起子 | 小寄 未裕 | 黒田 真未 | 倉田 愛梨 | 木下 乃音 | 川本 ノア | 河辺 由唯 | 粥川 紗永 | 可児 彩桜 | 門脇 菜子 | 角谷 真帆 | 加藤 瑠 | 加藤にいな | 奥地乃々葉 | 小川 侑紗 | 岡本愛理咲 | 岡村 蒼依 | 榑本 奏 | 越前 希音 | 江上 凌太 | 梅田 結花 | 宇野 輝 | 内村 彩花 | 内田 実玖 | 井上 初南 | 稲森 乃愛 | 稲吉 孝哉 | 稲垣 和佳 | 伊藤 美嬉 | 井手 瑞穂 | 市川 彩華 | 石川 葵 | 石垣 藍 | 生田 悠奈 | 荒木 萌亜 | 安部 日菜 | 足立 七香 | 浅野 愛 | | |
| 南部 未桜 | 名倉 里桜 | 中山 陽悦 | 長屋 花歩 | 中村 真緒 | 中西沙友美 | 中田光紗希 | 仲田 沙絵 | 中川 実柚 | 中井 悠貴 | 鳥居 沙良 | 富岡 翔乙 | 戸上 音央 | 坪根 遥介 | 千田 唯那 | 玉野 彩葉 | 田中 佑奈 | 竹内 友哉 | 竹内 友那 | 高矢陽奈子 | 高取 美咲 | 高木 志歩 | 外山 世莉 | 宗宮 杏奈 | 関 怜奈 | 関 陸翔 | 鈴木 結愛 | 杉浦 隼人 | 新開 瑠奈 | 佐藤 美和 | 坂下 穂佳 | 坂口 達也 | 榑原 汐里 | 榑原 弓月 | 坂井 尚哉 | 坂 尚紀 | 濟場 佑紀 | | | |

CBCテレビ賞 中三 高倉 和瑛

新たな挑戦

三年 高倉和瑛

CBCテレビ賞 中二 伊藤 寧音

新春福祿寿

伊藤 寧音

CBCテレビ賞 中一 長谷川侑里

温故知新

長谷川 侑里

CBCテレビ賞 中一 山田ひなた

春光松竹梅

山田ひなた

CBCテレビ賞 小五 小坂 幸慈

竹馬の友

小坂 幸慈

CBCテレビ賞 小五 渡邊 葉

希望の春

渡邊 葉

CBCテレビ賞 小四 上原 彩寧

明るるい年

上原 彩寧

CBCテレビ賞 小四 宮地 咲羽

初日の光

宮地 咲羽

西村 奏音 堀池 公月 吉田 英世
 野澤 英里 松井 雫 吉宮 凜
 花木 小春 松下 瑛太 渡辺 夏帆
 濱地 美結 松下 侑生 渡辺 花梨
 濱中 乙音 松村 実歩 ○小学五年
 林 美那 水口ひなた 浅川 大史
 林 璃音 水谷 来未 安達 陽色
 東 雅宗 村尾 季里 天野 紗綾
 深田 莉瑠 森島 花音 井澤 更紗
 福井あいか 安江 虹葡 石川 詩子
 福吉 愛希 矢橋夕珠稀 石川 莉紗子
 福島航太郎 山内 麻緒 伊藤 詩萌
 藤井 優空 山口野々葉 井上 永遠
 藤木みのり 山田 一輝 岩田 実桜
 降田 陽菜 山田 侑奈 井深 優晴
 古田 莉音 横山 大悟 江口 美優

大澤 真歩 社本 留菜 中田 光紅
 岡村 厚 小森 杏珠 中野 陽太
 岡村 唯希 菅原 広 中村 綾花
 甲斐 衣織 杉浦 康太 成田 壺
 各務 裕貴 鈴木 咲紀 野村 和花
 加藤 優芽 鈴木 智子 判治 徹哉
 加原 煌己 関戸 亜莉 久野奈那子
 鬼頭 雫葉 世良 千陽 深井 乙羽
 鬼頭 知輝 高井 舞姫 福田 雅
 久保ひかり 高垣 若奈 藤田 日菜子
 小泉 陽菜 高野 珠莉 藤谷 香漣
 酒井 香穂 高野 和泉 藤村 莉央
 酒井 七菜 田中 世菜 舟橋 優衣
 笹谷 玲月 谷 紗夕菜 古橋 茉子
 佐藤悠和羅 土本 桃花 不破妃楓瑠
 清水 蘭夢 堤 彩乃 松井 桜子

松野 莉子 新原 凜華 木村 心音
 松原 光希 西岡 優季 久納 悠翔
 松本陽菜莉 新田 彩斗 佐藤 匡悦
 真野 航輔 能美 紗羽 佐藤 樹泉
 三浦 莉子 萩本 千春 沢田 樹泉
 宮本 稜未 花田 真央 水溪 魁志
 村瀬 媛香 樋熊 悠花 鈴木 彩心
 森島 菜歩 平本 智嗣 瀬戸口 理緒
 山口茉莉花 二村 羽南 高村 芭奈
 山中 理瑚 堀内 里桜 竹内 大翔
 山本 芽依 堀江 紗 竹田 あい
 横井 奈々 松浦 未歩 田崎 晃多
 米山 陽菜 松浦 雅枇 田島未紗子
 ○小学四年 松本 星七 谷口 可歩
 石井 眞空 間宮 大陽 田畑 隆也
 石島 妃菜 水谷 圭吾 土本 夏美
 石田結理奈 水谷和香子 土屋 晴菜
 伊藤 成美 牟田 佳月 津幡くらら
 稲垣 奈佑 武藤 麻央 寺本 悠真
 稲垣 日彩 村田笑珠子 中斎 綾乃
 稲川 英里 森本ひなた 中西 隆登
 今飯田詩麻 柳生ころ 中村 怜那
 牛場 彩乃 山口 暁人 丹羽優莉奈
 梅田 実優 山中 咲奈 野村 咲月
 大岩幸太郎 横関 りと 長谷川千紗
 大須賀那留 浅井 莉子 濱中 七海
 大野 結衣 阿部 来美 松岡 莉子
 岡崎 凜 池田 瑠華 三島 綾心
 可知 永蓮 磯部 雄祐 水谷 優心
 加藤 沙彩 今村 和希 三村 拓未
 河合 美袖 上田 愛莉 宮崎 咲衣
 後藤 真絢 大野 雪音 初内 絆
 笹川 朝未 鬼頭 明里 矢嶋 里彩
 佐藤 蒼彩 勝寄丈一朗 柳澤 紗更
 沢田 麗羽 加藤 把奈 山本 涼馬
 関口 璃子 河上 莉也 横江 優衣
 多胡 心音 川田 詩 横江 伶香
 田代 瑞葉 川田 海幸 六鹿結里花
 田中 和輝 北村 翔大 渡辺 真葉

第一位	墨游会
第二位	牛刀会
第三位	書玄会
第四位	童友会
第五位	牧書会

応募点数 …… 15,343点

文部科学大臣賞 …… 1名	名古屋市長賞 …… 3名	名誉会長賞 …… 100名
衆議院議長賞 …… 1名	愛知県教育委員会賞 …… 3名	理事長賞 …… 106名
参議院議長賞 …… 1名	岐阜県教育委員会賞 …… 3名	推薦 …… 358名
愛知県知事賞 …… 3名	三重県教育委員会賞 …… 3名	奨励賞 …… 676名
岐阜県知事賞 …… 3名	名古屋市教育委員会賞 …… 3名	特選 …… 1,171名
三重県知事賞 …… 3名	中日書道会賞 …… 10名	準特選 …… 4,581名
名古屋市長賞 …… 3名	中日新聞社賞 …… 20名	秀逸 …… 3,843名
愛知県議会議長賞 …… 1名	東海テレビ賞 …… 10名	佳作 …… 3,009名
岐阜県議会議長賞 …… 1名	CBCテレビ賞 …… 10名	入選 …… 1,416名
三重県議会議長賞 …… 1名		

公益社団法人 中部日本書道会

第31回 書道教育研修会のご案内

〈実技講習〉

この研修会は、書道教育者の養成及び書道教育の普及を目的として開催します。

- ◆期 日 令和元年8月6日(火)
- ◆会 場 名古屋国際センター 5階第1会議室
名古屋市中村区那古野1丁目47-1 電話〈052〉581-5679
- ◆受付 9:25～9:45
- ◆内 容
- | | | |
|-------------|-----------------|--------------------|
| 9:45～ | 開会式 | |
| 9:55～ | 書道講話 | 中部日本書道会副理事長 岡野楠亭先生 |
| 10:30～12:20 | 漢字 | 中部日本書道会監事 |
| | —古典から学ぶ 楷・行・草書— | 伊藤暁嶺先生 |
| 12:30～13:30 | 昼 食 | |
| 13:30～15:20 | 近代詩文書 | 中部日本書道会理事 |
| | —詩文書を楽しむ— | 大島緑水先生 |
| 15:45～16:00 | 閉会式 終了証書授与 | |

●必ず午前、午後共受講して下さい。●実技講習ですので用具一式を持参して下さい。

※但、基本的文具、教材は会場でも販売する予定です。今年は伽藍〈TEL 052-242-7741〉が出店します。

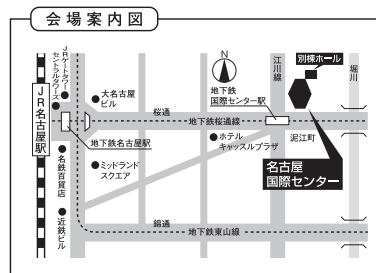
- ◆受講資格 本会会員及び一般
但、本会会員で書道教育推薦看板申請希望者のうち準会員の方は必修です。

- ◆受講料 本会会員無料
一般 3,000円(教材費)

- ◆定 員 50名

- ◆申込方法 ハガキに住所、氏名、電話番号、本会会員資格又は一般の別を明記の上、お申し込み下さい。FAX又は電話でのお申し込みはお受け出来ません。
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室
公益社団法人 中部日本書道会 書道教育研修会係 ☎052-583-1900

- ◆申込締切 令和元年7月5日(金) 本部にて申込書到着順に受付します。
定員になり次第締め切りますので早目にお申し込み下さい。



公共交通機関を御利用下さい。

■会場へのアクセス

- JR/「名古屋」……………下車徒歩7分
- 名鉄/「名鉄名古屋」……………下車徒歩7分
- 近鉄/「近鉄名古屋」……………下車徒歩7分
- 地下鉄/「名古屋」(東山線) ……下車徒歩7分
- 地下鉄/「国際センター」(桜通線) ……下車
- 市バス/「国際センター」……………下車

同時開催

第2回 夏休み毛筆体験教室
—夏休みの課題を上手に書こう—

- ◆対 象 小学3年生～中学2年生
◆参加料 無料
◆講 師 中部日本書道会の先生

※詳細は6月頃ホームページ (<http://cn-sho.or.jp>) に掲載します。

主催 公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社
後援 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会(申請中)

第69回中日書道展

公益社団法人中部日本書道会 創立85周年記念 特別展示

「どうして漢字はその形？」

—— 白川 静 文字研究のすがた ——

会 期 2019年6月12日(水)～16日(日) 会 場 愛知芸術文化センター 8階
愛知県美術館ギャラリー

協 力 立命館大学図書館
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

公益社団法人中部日本書道会 創立85周年記念 講演会

「師という文字の成り立ちとその変遷」

講 師 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所 客員研究員 高島敏夫先生

開催日時 2019年6月15日(土) | 会場 愛知芸術文化センター 12階
午後2時より | アートスペース 募集人数 250名

応募方法 住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記まで往復葉書にて
お申込み下さい。電話・fax・メールでの申込みは不可。 | 〆切り5月20日(月)
先着順にて受付

公益社団法人 中部日本書道会
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル 8階 C号室 TEL (052)583-1900

新入会員紹介 (四月分)

- 本 部
- 東 美千代
- 加藤 千秋
- 安藤 昭亭
- 金子 紫和
- 石川 山翠
- 上手菜々美
- 石川 裕里加
- 河合 恵萌
- 神戸 香穂
- 岸川 天翠
- 北澤 真季
- 居初 江陵
- 河野 公美
- 伊藤 華水
- 越川 瑞江
- 伊藤 紀子
- 後藤 煌雪
- 居波 優泉
- 小林 明美
- 稲村 洋春
- 孤田 真由
- 井上 恒雄
- 古家野弥生
- 猪野間三枝子
- 作田 菜月
- 岩田 純子
- 佐藤 玉華
- 岩田 祥風
- 佐藤 恵順
- 岩月 清曉
- 白井 ゆか
- 上田 清楓
- 杉浦とし子
- 種田 圭鳳
- 鈴木 愛果
- 大島 勉
- 鈴木 和代
- 大谷 和子
- 鈴木 葵峰
- 大橋 紅邨
- 鈴木 和代
- 岡部 明子
- 鈴木 和代
- 岡村 仁清
- 高橋 遥菜
- 小川 堇花
- 但馬日菜子
- 勘解由美智子
- 館 鈴水
- 梶田 夕貴
- 田中くるみ
- 半田支部
- 石黒 佳洲
- 林 里奈
- 高木 孝子
- 杉山 瑤華
- 杉山壽万子
- 篠田 佳那
- 今井 大地
- 秋田由希恵
- 一宮支部
- 坂 みゆき
- 日比野未実
- 藤野 真子
- 藤原さと子
- 舟橋 風苑
- 細川 柳舫
- 堀井 美里
- 前川紗於里
- 松尾 萌
- 濃飛支部
- 矢藤 千尋
- 安江栄美子
- 寶満 祥子
- 平井 祐里
- 鍋田 珠子
- 鈴木 幸枝
- 岡田 洋美
- 大高 理沙
- 西三河支部
- 守山木乃芽
- 森本 晴泉
- 村山 典孝
- 浜島 明翠
- 中野ひかる
- 酒井 嘉瑞
- 北勢支部
- 杉村 友香
- 中南勢支部
- 武田 佳風
- 岐阜支部
- 秋田由希恵
- 松原
- 松原 信子
- 田本
- 田本 尚子
- 辻村
- 辻村 麗湖
- 樋田
- 樋田 美翠
- 藤松
- 藤松 浩視
- 豊田
- 豊田 霞汀
- 内藤由美子
- 宮崎あさひ
- 永井
- 永井 江堂
- 中島
- 中島 直苑
- 永田
- 永田 正毅
- 長野
- 長野 史織
- 中村
- 中村 恭香
- 成田
- 成田 朋真
- 西山
- 西山 孝子
- 蜷川あずさ
- 山田 望星
- 山路
- 山路 白耀
- 横江
- 横江 星花
- 吉川
- 吉川 珠翠
- 吉田
- 吉田 暲彩
- 若菜
- 若菜 翠月
- 渡邊
- 渡邊 双輝
- 渡邊
- 渡邊 柳泉
- 渡會
- 渡會 恵一
- 市川
- 市川 映舟
- 木村
- 木村 有里
- 水谷
- 水谷 静香
- 溝口
- 溝口 葉華
- 渡邊
- 渡邊 照花
- 石黒
- 石黒 佳洲

塾総合保険のご案内

本会では、書道塾を運営されている会員の先生方のバックアップと、塾生の安全と安心のために「塾総合保険」を行っております。

生徒一名に付年額一四〇円で大きな保障となっております。年度途中での加入もできます。保険期間は、その年の十月一日から翌年十月一日までとなります。

この保険は、本会と保険会社が直接契約しているものであるため、少人数でのご加入ができ、有利な条件となっております。事故はいつ起こるか分かりません。生徒さんの安心と安全のために是非ご加入ください。又既に加入されている皆さんは十月一日が期限ですから、忘れずに契約更新を行って下さい。資料請求、申し込みは本部まで。

補償内容			
賠償事故	塾経営者	対人賠償てん補 限度額	1名 2,000万円 1事故 1億円
		対物賠償てん補 限度額	1事故 100万円
	生徒 法定監督義務者	賠償責任てん補 限度額	1事故 2,000万円
傷害事故	死亡・後遺障害保険金額		100万円
	入院保険金日額		1,000円
	通院保険金日額		500円
	保険料(生徒1名につき年額)		140円

(注) 賠償事故の場合、1事故につき1,000円を自己負担していただきます。生徒の賠償責任てん補限度額は、対人、対物賠償合わせて1事故のみの適用となります。

改元記念

元号の展覧会

大化から令和まで 二四八元号を展覧

会期 令和元年六月十一日(火)〜十六日(日)

会場 名古屋市民ギャラリー栄 八階

(中日書道展会場内)

計 報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。(厚生部)

- 1月3日 評議員 小玉太貫氏 享年78
評議員 廣井芳朗様 享年90
- 1月13日 評議員 久田宏道氏 享年93
評議員 石川華泉氏 享年80
- 1月14日 評議員 前島春汀氏 享年77
評議員 小川幸子氏 享年77
- 1月22日 正会員 信川芳枝氏 享年89
評議員 大曾根弘風氏 享年77
- 1月27日 正会員 石川華泉氏 享年80
評議員 廣井芳朗様 享年90
- 1月23日 正会員 小川幸子氏 享年77
評議員 大曾根弘風氏 享年77
- 3月3日 評議員 大曾根弘風氏 享年77
ご母堂 幸恵様

会費未納の方にお願

新年度がスタートしました。平成三十年度会費未納の方は、至急お納め下さい。(正会員で中日書道展不出品の方及び準会員の方で未納の方)本部会員は、郵便振替 008901614420。支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

住所変更、改姓、改号、社中変更等

変更事項は本部まで(一報下さい)。

052(583)1900

社中展・個展のご案内掲載について

本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。次号掲載は、九月中旬〜十一月中旬開催の展覧会となります。お申し込みは、七月末日までに本部までお願いします。

編集部



あとがき

中日会報第一九二号をお届けいたします。

新たな元号も令和と決まり日本の歴史の歩みが、また一歩進められてまいります。

その歴史の中で本年、中日書道会も創立八十五周年の歴史を刻みます。多くの先生方により、紡がれました時を考えますと、その重みが一層深く感じられます。

第六十九回中日展書道展へのご出品は、新しい時代へ思いや希望を携えての作品製作ではなかったかと思えます。本年度の会員皆様方の力作は、従来通りの会場と日程で展覧がなされます。

中日書道展の情報と合わせて、創立八十五周年記念の特別展示・講演会、教育研修のご案内、書きぞめ展、各支部下半期のご報告等、多岐にわたる記事掲載となっておりますので、一読下さいませ。

(編集部)

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>

メールアドレス info@cn-sho.or.jp

支部だより (平成三十年度) 下半期

一宮支部

●研修旅行

日時 十月二十八日(日)
行先 北勢の旅(パラミタミュージアム、澄懷堂美術館)

参加者 八三名(内、会員外二五名)
朝八時十分一宮を出発。高速を走り「パラミタミュージアム」へ。その後、「アクアイグニス」へ。昼前の移動で食事が待ち遠しく感じられ乍らも、「湯の山グリーンホテル」にて懇親昼食会。午後からは、新移転の「澄懷堂美術館」へ。今年度は昨年とは正反対の感、近場で晴天に恵まれ、ほのほとした研修旅行となりました。



研修旅行

●第六十四回一宮支部展

会期 十一月二十四日(土)～二十五日(日)
会場 一宮スポーツ文化センター
出品者 支部員 一九七名
青年部 個人六名 三団体七十四名

第七十三回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長関根玉振先生はじめ、副理事長伊藤仙游先生、岡野楠亭先生、同松下英風先生、事務局長大池青岑先生の玉作を賜りました。陳列作業も手際よく進み、一宮支部員の「一致団結」を痛感致しました。短期間でしたが、深遠な芸術の森を散策することが出来、良き学びの場となり、満たされた心持ちになりました。



支部展(上)・学生書道展(下)

●第四十七回一宮支部学生書道展

支部展と同時に開催
総出品点数 三二六四点
会場は多くの出品者やご家族で賑わい、

充実した「目の勉強」「親子のふれあい」の場となり、各々が作品を見る真剣な眼差しが印象的でした。また、平素味わう事のない、好きな色を使って思い思いの文字や言葉を表現する「新年カレンダー作りイベント」も好評でした。

●支部集会・交流会

日時 一月二十七日(日)
会場 支部集会Ⅱ一宮スポーツ文化センター
交流会Ⅱ真清田神社参集殿

出席者 支部集会Ⅱ一〇五名
交流会Ⅱ一〇一名

集会は、本部より理事長関根玉振先生、副理事長松下英風先生、事務局長大池青岑先生にご臨席賜り、三十年度事業報告と三十一年度事業計画が承認されました。交流会においては、本部の先生方に加え、地元議員の先生方、一宮市教育委員会教育長、協賛会員の方々など多くの御来賓をお迎えし、和やかに開催いたしました。



支部集会



交流会

●支部講演会

日時 一月二十七日(日)
会場 一宮スポーツ文化センター
講師 (公社)中部日本書道会理事長 関根玉振先生

演題 「筆を持って五十七年」
——中でも魅力を感じたもの——

聴講者 一〇三名(内会員外八名)
関根玉振先生の今日までの書道人生の一部をご紹介いただき、書を学ぶ私達の道しるべとなる有意義なお話を拝聴することが出来ました。ユーモア溢れる明るい先生のお人柄にも触れることもでき、講演の最後のイベントの盛り上がりは先生のご配慮の賜物に他なりません。ご参加の皆様には明るい学びの場となりました。



講演会

半田支部

●研修旅行

日時 十一月十一日(日)
行先 津・四日市(高田本山・専修寺 石水博物館・澄懷堂書道美術館)

参加者 三十八名

半田を八時半に定刻で出発、お天気にも恵まれバスも順調に走りほぼ時間通りに高田本山・専修寺に到着、大きな寺院に一同ビックリ。国宝の御影堂をバックに記念写真、宝物館では親鸞聖人のご直筆等のたくさんのお話をみなさん熱心に見学されました。予定時間をオーバー、後ろ髪をひかれながら昼食へ。



研修旅行

午後石水博物館、川喜田半泥子、生誕一四〇年記念特別展が開催中で川喜田氏の陶友である荒川豊蔵・三輪休和・金重陶陽の作品が展示、近代陶芸界に残した足跡を感じた。澄懷堂美術館、いつ来ても圧倒させられると言っても、居心地の良いところである。今回も張瑞図・米萬鐘等の作品が迎えてくれた。書人たちの息吹を感じる空間に、みなさん暫し身を置いていた。時がたつのは早いもので帰る時刻に渋々帰路についた。本年も大変充実した研修旅行であった。

●支部集会・講演会

日時 三月三日(日)
会場 クラシティ半田

支部集会

参加者 六十八名
本部より松下英風副理事長、佐野翠峰第一企画部長兼IT部長、磯谷凄聴記録統計部長のご臨席を賜り、三十一年度事業報告、会計中間報告、三十一年度事業計画、予算、役員改選について審議・承認されました。



支部集会

講演会

参加者 七十八名

集会終了後、同会場で立川流彫刻家立川芳郎尚富様を講師にお迎えして「日本の心を刻む立川流」という演題でご講演をいただきました。先生の前職、学校の先生時代のお話から始まり彫刻作家と職人との違い話、そして立川流の歴史について語られ、なんと落語の立川流も深い関係があるそうである。先生は、彫刻を愛するが故、江戸時代の代表的な宮彫りの伝統が将来へ正しく伝承される様尽力されている。最後に名古屋城には木彫りの雌の鯢が保存されているそうです。



講演会

時代の代表的な宮彫りの伝統が将来へ正しく伝承される様尽力されている。最後に名古屋城には木彫りの雌の鯢が保存されているそうです。

西三河支部

●研修旅行

日時 十月三十日(火)
行先 京都(実相院・龍安寺)
参加者 三十八名
春から秋にかけて「床みどり」「床もみじ」が、絵画のような美しい光景が楽しめる実相院。紅葉はまだ早く「床みどり」を鑑賞。又石庭で有名な龍安寺は皆様行ったり来たりして楽しそうに石を数えてみえる様子が何われしました。



研修旅行

●支部会員展

会期 二月二十日(水)～二十四日(日)
会場 岡崎市美術館
出品者 一八四名
入場者 一、〇八八名
本部より理事



支部会員展

長、副理事長、事務局長の賛助出品を頂き、一段と重厚さが加わり盛大に開催できました。又出品料の一部六万円を東日本震

災の被災者支援に役立ててほしいと中日新聞を訪れ寄託しました。

●支部集会・講演会・交流会

日時 二月二十三日(土)
会場 岡崎商工会議所
本部より伊藤



支部集会

副理事長、廣澤教育部長、大島理事の御臨席を賜り事業報告・会計報告・事業計画・役員改選等承認されました。

講演会

講師 顧問 佐々木富邦先生
演題 孫過庭の「書譜」について
参加者 一五三名

どなたも一度は勉強される古典だけに興味深く拝聴させて頂きました。二時間にも及ぶ講演。まだ精進をとおっしゃった言葉に頭が下がりました。



講演会

●研究会

日時 三月十七日(日)
参加者 一〇六名

日頃の作品について社中外の先生にご指導を受ける事ができ有意義な研究会でした。

東三河支部

●研修旅行

日時 十月二十八日(日)
行先 熱海MOA美術館
参加者 四十名
秋晴れの中、熱海に向けて出発しました。熱海の町をくねくねと通り抜け、再び急な坂道をのぼってMOA美術館に着きました。まず鑑賞前に参加者全員でフランス料理の昼食をとり、食後、三々五々美術品の鑑賞に向いました。

残念ながら有名な国宝紅白梅図屏風は定期的に見られませんでした。国宝色絵藤花文茶壺を見ることができました。開催されていた特別展「信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻」では、織田信長自筆感状や、信長が蒐集した国宝や重文の茶道具をはじめ、たくさん美術品を鑑賞することができました。

美術品の鑑賞後は、庭園を歩いたり、お抹茶をいただいたり、相模湾のすばらしいロケーションを楽しんだりして帰りの出発時間までの短い時間を楽しみました。



研修旅行

●支部講習会

日時 二月十日(日)午後一時
会場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム工作室
講師 中目文化センター 画家 山内伸氏
内容 絵手紙を描く

参加者 三十名
講師に地元東三河で画家として活動されている山内伸氏をお招きし、絵手紙の描き方について学びました。はじめに先生が用意してくださったイチゴとイチゴの描かれた葉書が配られ、イチゴの描き方(描いていく手順、構図、輪郭、色のせ方等等)について講義していただきました。続いて絵を描く作業が始まりました。絵を描くのは苦手という方が多くいたにもかかわらず、参加者全員の集中力が会場に溢れ、終了時刻に気がつかないほどでした。完成した絵手紙には様々なイチゴが描かれ、参加者の皆さんの感性の個性が表現されていました。苦手なものに挑戦できたひとときでした。



講習会風景



選抜展会場風景

●支部選抜展

会期 二月五日(火)～十日(日)
会場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム第一室
出品数 六十五点 入場者 六九七名
顧問の村田華穂先生、権田徳園先生、参与の古川昇史先生、鈴木瑞象先生、内藤大旺先生に玉作を出品していただき、各社中からは会員の個性あふれる作品が出品されました。作品の大きさは例年より小さくなりましたが、様々な書風が展示され、地域の書道愛する方々にご来場いただき、盛会のうちに最終日を迎えることができました。

た。

濃 飛 支 部

● 研修旅行

澄懷堂美術館、パラミタミュージアムを主とした視察旅行

日 時 十一月十一日(日)
参加者 二十七名

最初に四日市市にある澄懷堂美術館を見学しました。貴重な作品を収納、展示するのに相応しい天井の高い建物の中に、明時代の王鐸、張璠、文徵明、董其昌、清時代の金農などの作品が展示されていました。又国内の巻菱湖など能書家の作品もありました。草書の字の勢いが感じられ空間を万遍なく満ちている観る私達に迫ってくるような迫力を感じました。学芸員の丁寧な説明にも頭が下がる思いでした。



澄 懷 堂 美 術 館



パ ラ ミ タ ジ ュ ー ジ ア ム

次に湯の山温泉で美味しい昼食を戴きました。その後パラミタミュージアムを見学しました。ここでは約千坪の敷地に池田満寿夫の彫刻や般若心経シリーズの作品が常設展として展示されていました。数多くの作品からはエネルギーが感じられ観る人を惹きつけていました。二階にはモネやシャガール等の作品も展示されていました。ここにはかなり沢山の作品が収蔵されており見応えがありました。バス一台での研修旅行でしたが天気も良く御在所岳を目の前にし会員皆元気で有意義な研修旅行を終える事が出来ました。

北 勢 支 部

● 研修旅行

日 時 十一月十八日(日)
行 先 黄檗山萬福寺と伏見の町並みを訪ねて

参加者 三十七名

行程は近鉄四日市駅前と桑名駅前で開催者を乗せ京都洛南へ。開版(魚柳)が有名で布袋尊がお祀りされている萬福寺に行きました。僧侶の吉野心源さんより「中国から渡来した隠元禪師と日本人とのやりとりは書で書いたもので沢山残っている。その中でも言葉では言い表せない大事なことは多くの扁額や対聯や柱聯などに記した」というお話から始まり、それら一つ一つに書かれた文字の意味を丁寧に解説して頂きました。隠元禪師の額や聯のほとんどが行書でしたが「法堂」の額だけでは楷書で、



研 修 旅 行

勇壮で温かなゆつたりした文字に参加者は魅了されました。その後、伏見に移動して月桂冠のお食事処「月の蔵人」でランチを食



隠元禪師の「法堂」の額



開版 (魚柳)

● 講習会

日 時 二月十七日(日)

場 所 じばさん三重

講 師 宇野サチノ先生 山口直子先生

テーマ 「ハガキに小さな絵を」

参加者 三十名

べた後、月桂冠や黄桜の記念館でお酒を飲み飲したり、お土産を買ったり、また幕末動乱の舞台となった寺田屋を見学したりして伏見の町並みをほろ酔い気分楽しく自由散策して帰路につきました。

日本画の先生をお招きして、お礼状や季節の御挨拶などに使用する葉書に絵を入れる画法を教えて頂きました。初めに山口先生が書き方のデモンストレーションをして、「まず中心部から書いていく、初めての人は薄いブルーとか黄土色を出るだけ薄くして輪郭を描いてから書く」と良い、花卉の数を間違えないように、花の特徴をつかみ自然の状態を書く、線の引き方は思い切って描き、書道の蔵鋒を使用した線も使える、顔彩は色を重ね塗りしても描けるが、水彩絵の具は一度乾かしてから重ね塗りをしなければ色が混ざって汚い色になる、葉書を出す前に表も裏もロウソクで二、三回こすっておくと水に少しくらい濡れても大丈夫」という説明の後、参加者は先生のお手本や実物の花木を見て作品制作をしました。書けた作品を見せ合い褒め言葉が飛び交っていました。



講 習 会

中南勢支部

支部研修会

去る十月十五日、中南勢支部研修会は春日井市道風記念館、小牧市メナード美術館を参加者三十四名で見学した。

道風記念館は名古屋高速からほど近く、住宅街のなか、広やかな市民公園の一角にある。没後三十年の愛知県、それに全国にその活躍の知られた坪井正庵の遺作展を拝見、あらためてその生命感の豊かな線状の美しさを目の当たりにして感動。心ゆくまで堪能した。昼食は名古屋コーチンで舌鼓を打ち、午後、メナード美術館で企画展、島田章三の世界、数々のさまざまな作品を楽しんだ。近代ヨーロッパの自由でおおらかな画風。絵の具を塗り重ねては荒々しくそぎ落とすかと思れば、謹厳な写真。それに相まったユーモアがこころ和ませる。
まる一日、それはもう、どこまでも高く広く澄み切った青空がまぶしい一日だった。

第三十二回支部展

会期 十一月十四日(水)～十八日(日)
会場 三重県立美術館 県民ギャラリー
出品数 七十七点 子供作品 三十点
入場者数 八十二名

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游、岡野楠亭、松下英風副理事長、大池青岑事務



研修旅行

局長、中南勢支部に籍を置かれる

名誉副会長の鬼頭翔雲先生の玉作を賛助出品

していただき、会員、準会員、子供作品、一〇七点の力作が展示されました。祖父、娘、孫、と三代にわたる家族の出品者もあり、家族連れの方々で会場が賑いました。

支部集会・講演会

日時 十一月十七日(土)
会場 ヴォンヴィンバン

小春日和の中、平成三十年度、平成最後の中南勢支部集会、講演会を開催いたしました。

本部より関根理事長、岡野副理事長、山内半田支部長をお迎えし、関根理事長にご挨拶いただき、各担当の先生より事業報告、会計報告がなされました。

引き続き、講演会には川喜田半泥子の孫にあたられる川喜田久氏をお招きし、半泥子の

芸術観や、想い出、遊び心など、多岐にわたる楽しく愉快なお話を、七十余名の参加

者は時間を忘れ拝聴させていただきました。

クイズです。

「初日柔圃家」なんと読むのでしょうか。



支部展



講演会

岐阜支部

支部研修旅行

行先 石山寺・延暦寺 国宝を訪ねて
日時 十一月二十二日(木)
参加者 三十四名

午前中は滋賀県の石山寺を研修。紅葉したモミジの参道に迎えられ、登る小径も彩どりのモミジに声があがり、国宝の本堂と多宝塔に参拝し、紫式部が参籠し源氏物語の着想を得た昔に思いを馳せました。豊浄殿の紫式部展には、紫式部が菅原道真の娘でありあまたの女御たちの暮しを見、所作を眺め過ごす日々の環境のなか、考えられた様です。又京に近いとのこともあり、貴族達が一日ゆっくり遊ぶにふさわしい景觀、全山が庭園となり楽しめる場所だったとか。昼食は大津プリンスホテルで琵琶湖



石山寺

の絶景を見ながら「松月堂弁当」を頂きました。

午後には比叡山延暦寺。天台宗開祖の最澄が七八八年に創建したと伝えられています。大改修中の根本中堂では千二百年間灯り続けている「不滅の法灯」、青山先生晩年の「不滅燈」の扁額を頭にし、本堂のご本尊に参拝する。国宝殿では「至宝展」が開催中で地下一、地上三階の薄闇の中しづしづと、多くの方々に一ぱい、古く平安、鎌倉時代の国宝級、重要文化財の仏像がぎゅっしりと並び、そして写経と鑑賞しました。もう少し時間があればなあーと。

晩秋のひと日を感じバスへと。ご一緒していただけいた皆様と楽しかったねー。



至宝展 仏像



延暦寺 至宝展